

高速ブロードバンドルータ

# NetGenesis® SuperOPT100E

MR-OPT100E

## クイックスタートガイド

本製品付属のマニュアルは以下の構成になっています。

- クイックスタートガイド(本書)  
→ インターネットへ接続するための基本的な設定と手順のみ説明しています。
- ユーザーズマニュアル(CD-ROM収録)  
→ NetGenesis SuperOPT100Eの全機能について説明しています。

以下の設定が必要な場合は、付属のCD-ROMに収録されている各マニュアルをWWWブラウザで参照して設定を行って下さい。(以下の内容は本書に記載されていません。)

- ISPから付与された、複数のグローバルIPアドレスを使用する場合  
(複数固定IPアドレス変換機能/アンナンバード機能)
- ローカルルータとして使用する場合
- LAN内のサーバーを公開する場合(ポートを開ける場合)
- ルーティング機能(以下)を使用する場合
  - ・ソースルーティング機能   ・スタティックルーティング機能   ・RIP機能
- VPN(PPTP/IPSec)変換機能を使用する場合
- HUB機能(以下)を使用する場合
  - ・VLAN機能                   ・QoS機能                   ・速度制限機能           ・ブロードキャストストーム保護機能
  - ・ミラーリング機能        ・ポート設定機能(リンク速度の固定等)
- その他、以下の機能を使用する場合
  - ・ファイアウォール機能   ・DMZホスト機能   ・MACアドレス変更機能   ・EasyDNS機能



## はじめに

このたびはブロードバンドルータ「NetGenesis® SuperOPT100E」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品を正しくお使い頂くために、本書及びCD-ROMに収録されている各マニュアルを良くお読み下さい。また、本書は保証書、CD-ROMとともに大切に保管して下さい。

以下の製品名等は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft® Windows® 7 Operating System  
Microsoft® Windows Vista® Operating System  
Microsoft® Windows® XP Operating System

Mac OS はアップルコンピュータ社の登録商標です。




その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

### ■本製品のご利用に当たって以下の項目をご了承下さい。

- (1) 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外的要因によって通信等の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた純粋経済損失、通信内容の漏洩による純粋経済損失や精神的損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- (2) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが万一不審な点、記載漏れ等お気づきの点がありましたら、当社ユーザーサポートまでご連絡下さい。
- (3) 運用した結果につきましては、上記項目に関わらず一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- (4) 本書の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
- (5) 本書の内容は、予告無しに変更することがあります。

### ■本書中のマークについて

本製品を安全に正しくご使用頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている内容を必ずお読み下さい。


 警告	本表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	本表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。
 お願い	本表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮出来なかったり、機能停止を招く内容を示します。

### ■本書中の表記について

- 以下の文字は非常に間違いやすいので注意して下さい。  
半角数字「1」（イチ）と半角アルファベット小文字「l」（エル）、半角アルファベット大文字「I」（アイ）  
半角数字「0」（ゼロ）と半角アルファベット小文字「o」（オー）、半角アルファベット大文字「O」（オー）
- 本書では一部の語句について略語表記している箇所があります。

本書での表記	正式な呼称
ISP	インターネットサービスプロバイダ
PC	パソコン、コンピュータ、端末等
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Operating System
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Operating System
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Operating System
Windows	上記2種類のオペレーティングシステムの総称
回線終端装置	ケーブルモデム / ADSL モデム / ONU / メディアコンバータ等




- 以下のマークが付いている箇所は本製品をお使い頂く上で必ず確認または注意して頂きたい項目です。




 確認	ここに記載されている内容を必ず確認・注意して下さい。
--	----------------------------



## 安全にお使い頂くために


本製品を安全にお使い頂くために、以降の内容を必ずお読み下さい。

### ご使用にあたって

 <b>警告</b>	<p>本製品は一般のオフィスや、家庭用OA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システム等)では、使用しないで下さい。</p> <p>本製品から発煙したり、異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。その際は本製品の電源アダプターをコンセントから外して、発煙しなくなる、もしくは異臭が消えたことを確認した後、当社ユーザーサポートへご連絡下さい。</p> <p>お客様による修理は大変危険ですので、絶対にお止め下さい。</p> <p>濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないで下さい。 火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源アダプターのプラグにドライバ等の金属が触れないようにして下さい。 火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>AC100Vの家庭用・商用電源以外では使用しないで下さい。 火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源アダプターは必ず添付のものを使用して下さい。 異なる電源アダプターを使用すると、火災、感電、故障、動作不良の原因となります。</p> <p>電源アダプターのコードを傷つけたり、無理な力を加えたり、重いものを乗せないで下さい。 電源アダプターのコードが破損し、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源アダプターのプラグとコンセントの間の埃は定期的(半年に1回程度)に取り除いて下さい。 そのまま放置すると火災の原因となります。</p> <p>電源アダプターを抜き差しするときは、必ずプラグを持って抜き差しを行って下さい。 電源アダプターのコードを無理に引っ張るとコードが破損し、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>下記のような事故が発生したら、ただちに本体電源をOFFにし、電源アダプターをコンセントから外した後、当社ユーザーサポートへご連絡下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えてしまった場合</li><li>・本製品に水等の液体をかけてしまった場合</li><li>・本製品の内部にクリップ等の金属片が入ってしまった場合</li></ul> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>本製品や電源アダプターを開けて内部の部品に触れたり、改造したりしないで下さい。 高電圧のかかっている箇所があり、火災、感電、故障の原因となります。 また、分解・改造が行われた製品については、一切のサポート及び修理をお受けいたしません。</p> <p>近くで雷が発生しているときは本製品の電源アダプターをコンセントから外し本製品のWANポート、及びLANポートに接続されているケーブルを外してご使用を控えて下さい。 雷により火災、感電、故障が発生する恐れがあります。 また、落雷による故障については、保証期間内であっても有償修理となります。</p> <p>本製品に各種ケーブルを抜き差しする場合、必ず本製品および他の機器の電源をOFFにしてから行って下さい。電源を入れたままケーブルの抜き差しを行うと感電、故障の原因となります。</p>
 <b>注意</b>	<p>電源アダプターのコードを延長したり、テーブルタップや分岐コンセントを使用して、たこ足配線をしないで下さい。火災、感電の原因となります。</p> <p>本製品の上に乗らないで下さい。 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 本製品が破損し、ケガや感電の原因となります。</p> <p>本製品背面の各コネクタに異物を挿入しないで下さい。 感電、故障の原因となります。</p>
 <b>お願い</b>	<p>本製品が動作しているときは、本製品に接続されているケーブルに触れないで下さい。 ケーブルが外れたり動作が不安定になる等、誤動作の原因となります。</p>

使用環境	
 警告	本製品の近くに花瓶や植木鉢、化粧品、薬品や液体の入った容器、小さな金属等を置かないで下さい。これらの異物が本製品内部に混入した場合、火災、感電、故障の原因となります。
 注意	本製品を不安定な場所に設置したり、本製品の上にものを置かないで下さい。バランスが崩れて倒れたり落下して、ケガや本製品の故障の原因となります。
	本製品は屋内用として開発されております。屋外へ設置したり、屋外で使用しないで下さい。雨や埃等により故障、破損の原因となります。
	本製品を調理台の近く等、油飛びや湯気のアたるような場所、ゴミや埃の多い場所に設置しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
	本製品と電源アダプターを直射日光のアたる場所や、ストーブ、ヒーターの近く等、高温になりやすい場所および湿度の高い場所に設置しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
	本製品の動作中は本製品内部および外側が高温になることがあります。本製品の近くにビニール等、熱により熔けやすいものを置かないで下さい。また、本製品を他の機器と重ねて設置しないで下さい。変色、変形、故障の原因となります。
	本製品の通気孔をふさいだり重ねて設置しないで下さい。本製品内部に熱がこもり過熱故障、火災の原因となります。
	本製品を温度差の激しいところや結露するような場所へ設置しないで下さい。故障の原因となります。
	本製品を長期間ご使用にならないときは、電源をOFFにし、本製品に接続されている各種ケーブルを外して下さい。
	本製品を長期間無人で使用する際は、必ず定期的に保守/点検を行って下さい。
 お願い	本製品は磁気を帯びている場所や磁場の発生している場所(テレビ、ラジオ、電子レンジ、携帯電話等の近く)に設置しないで下さい。他の機器や本製品の動作に影響を及ぼすことがあります。

お手入れの際	
 警告	本製品の汚れを拭き取る際はベンジンやシンナー、アルコール等の薬品を使用しないで下さい。人体に有害な気体が発生したり、本製品が変色したり変形する原因となります。汚れを拭き取る際は、柔らかい布で軽く拭き取って下さい。
 注意	お手入れをするときは、電源をOFFにし、本製品に接続されている各種ケーブルを外して、安全な状態で行って下さい。

その他	
 注意	本製品は日本国内向けとして販売しております。本製品を海外で使用された場合、当社は一切その責任を負いません。(海外で使用された際のサポート、保守業務は行っておりません。)
	本製品は1つのIPアドレスで複数台のパソコンからインターネットへ接続することが可能です。しかし、ISPによっては接続するパソコン台数ごとに追加契約が必要となる場合があります。本製品をインターネットへ接続するために使用する場合、お客様の自己責任で行って下さい。当社はお客様とISPとの契約条件等については一切関知致しません。
	本製品の仕様及び外観については、改良のため予告無く変更することがあります。



1. 製品の概要	1
1-1. NetGenesis SuperOPT100Eの特長	1
1-2. 付属品の確認	3
2. ルータの設置	4
2-1. 設置前に確認すること	4
2-2. 各部の説明	6
2-3. 各機器との接続	7
2-4. インターネットへ接続するための設定手順について	8
3. パソコンの設定	11
3-1. Windows 7(TCP/IP)の設定	11
3-2. Windows Vista(TCP/IP)の設定	13
3-3. Windows XP(TCP/IP)の設定	15
3-4. Mac OS X 10.5/10.6(TCP/IP)の設定	17
4. ルータの設定	18
4-1. 設定画面へのログイン	18
4-2. WANポートの設定	20
4-2-1. フレッツ(PPPoE)簡単設定(フレッツ 光ネクスト や Bフレッツ、フレッツ・ADSL、eo光等)	20
4-2-2. DHCPクライアント機能を使う(CATV、Yahoo!BB ADSL等)	22
4-2-3. IPアドレスを固定する(CATV、IPアドレス指定のISP等)	24
4-3. 設定の更新	27
5. 付録	28
5-1. ファームウェアバージョンとMACアドレスの確認方法	28
5-2. SYSLOG機能の使用方法	29
5-2-1. SYSLOGの表示	29
5-2-2. SYSLOG表示例	30
5-3. PPPoE マルチセッション設定例	31
5-3-1. PPPoEポート2(セッション2)の設定	31
5-3-2. スタティックルーティングの設定	35
5-3-3. PPPoEポートの制御	37
5-4. ISPから自動取得したIPアドレスの確認方法	38
5-5. IPv6ブリッジ機能の設定方法	39
5-6. 困ったときは(Q&A)	40
5-7. ユーザーサポートについて	47

# 1. 製品の概要

## 1-1. NetGenesis SuperOPT100E の特長

NetGenesis SuperOPT100E(以降、本マニュアルでは「NetGenesis」と称します)には次の特長があります。

<b>確認</b>	右端に「✓」マークが記載されていない機能は本書では説明していません。これらの設定が必要な場合は、付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)を参照して下さい。
-----------	--

WANポートの機能	
● DHCPクライアント機能 DHCPクライアント機能により、ISPからグローバルIPアドレス等を自動取得することが可能です。	✓
● PPPoE(PPP over Ethernet)クライアント機能 フレッツ 光ネクストやBフレッツ、フレッツ・ADSL、eo光等、PPPoE接続を必要とする回線に接続することが可能です。また、PPPoE接続する際に必要なソフトウェア(「フレッツ接続ツール」等)を、LAN内の各パソコンへインストールする必要がなくなります。	✓
● PPPoEマルチセッション機能 PPPoEマルチセッション機能により、同時に2箇所へのPPPoE接続を行うことが可能です。	
● 複数固定IPアドレス変換(NAT/IPマスカレード)機能 ISPから取得した、複数の固定IPアドレスをNAT/IPマスカレード変換することにより、固定IPアドレスの個数以上のパソコンから、インターネットへ接続することが可能です。	
● アンナンバード(unnumbered)機能 WAN側をアンナンバード(unnumbered)として、ISPから取得した複数の固定グローバルIPアドレスを、LAN内で使用することが可能です。	
● MACアドレス変更機能 NetGenesisのWANポート側のMACアドレス(物理アドレス)を変更することが可能です。	
● MTU値変更機能 PPPoEクライアント接続機能使用時に、MTU値を変更することが可能です。	
● ローカルルータ機能 IPアドレス変換機能をOFFにすることにより、ローカルルータとして使用することが可能です。	
● PPTP変換機能/IPSecパストルー機能 ルータを介したVPNネットワークを構築することが可能です。	

LANポートの機能	
● IPv6ブリッジ機能 LAN-WAN間でIPv6パケットをブリッジすることにより、LAN内でフレッツIPv6サービスを利用することが可能です。	✓
● UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能 UPnP対応ソフトウェアやIP電話用VoIPアダプター等、UPnP対応機器を使用することが可能です。	
● DHCPサーバー機能 NetGenesisに接続するパソコンに必要なTCP/IP設定を、NetGenesisから自動取得することが可能です。	
● SNTPクライアント/サーバー機能 インターネット(またはLAN)上のSNTP/NTPサーバーを利用しNetGenesisの時刻を調整することが可能です。NetGenesisがSNTPサーバーとして機能することにより、SNTPクライアントに時刻情報を与えることも可能です。	
● ファイアウォール(IPフィルタ)機能 IPパケットのフィルタリングにより、LAN内部のコンピュータ資源を保護することが可能です。	
● SYSLOG機能 NetGenesisのシステムログメッセージをパソコンに表示/記録することが可能です。	✓
● ProxyDNS機能 パソコンのTCP/IP設定でDNSサーバーIPアドレスとしてNetGenesisのLANポートIPアドレスを設定することにより、NetGenesisがDNSサーバーの代理応答を行うことが可能です。	
● EasyDNS機能 ホスト名とIPアドレスをNetGenesisに登録することにより、NetGenesisを簡易DNSサーバーとして使用することが可能です。	



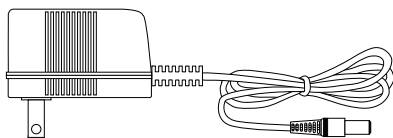
ルーティング機能	
● <b>スタティックルーティング機能</b> 送信先の IP (ネットワーク) アドレスによってルーティングすることが可能です。	
● <b>ソースルーティング機能</b> 送信元の IP (ネットワーク) アドレスによってルーティングすることが可能です。	
● <b>RIP 機能</b> RIP 対応機器と経路情報を送受信することにより、動的に通信経路を変更することが可能です。	
サーバー公開に対応するための機能	
● <b>静的 IP マスカレード機能 (IP マスカレードテーブル)</b> WAN (インターネット) 側から発信された IP パケットを、プロトコルやポート番号に応じて LAN 内の特定の IP アドレスへ転送することが可能です。	
● <b>DMZ ホスト機能</b> WAN (インターネット) 側から発信された全ての IP パケットを、LAN 内の特定の IP アドレスへ転送することが可能です。	
HUB の機能	
● <b>QoS 機能</b> 任意の HUB ポート、または "IEEE 802.1p QoS タグ" による優先度を設定することが可能です。	
● <b>速度制限機能</b> 各 LAN ポートの送受信速度に制限を設けることが可能です。	
● <b>VLAN 機能</b> LAN を複数の VLAN グループへ分割することが可能です。	
● <b>ブロードキャストストーム保護機能</b> ブロードキャストストームによるネットワークパフォーマンスの低下やネットワーク障害から、ネットワークを保護することが可能です。	
● <b>ミラーリング機能</b> 任意の LAN ポートのミラーリングポートを設定することが可能です。	
ハードウェアの機能	
● <b>WAN 側ポート、LAN 側スイッチング HUB 10/100Mbps 自動認識対応</b> WAN 側ポート、LAN 側スイッチング HUB の全ポートが 10/100Mbps 自動認識 (RJ-45) に対応していますので、10BASE-T (10Mbps) と 100BASE-T (100Mbps) や全二重と半二重のように、異なる速度を混在して使用することが可能です。 (10/100Mbps、全二重 / 半二重の固定設定も可能です。)	
● <b>WAN 側ポート、LAN 側スイッチング HUB、Auto MDI/MDI-X 対応</b> WAN 側ポート、LAN 側スイッチング HUB の全ポートがイーサネットケーブルのストレート / クロスを自動的に判別・切り替えを行なう AUTO MDI/MDI-X に対応しています。 回線終端装置やパソコン等を接続する際、ストレート / クロスケーブルを意識せずに接続することが可能です。 (MDI/MDI-X の固定設定も可能です。)	
● <b>フラッシュ ROM 搭載</b> 専用の機器を使用しなくても消去 / 書き込みが可能なフラッシュ ROM を搭載しています。 ファームウェア (NetGenesis のコントロールを行う内部プログラム) をフラッシュ ROM へ置くことにより、今後ファームウェアのバージョンアップが必要となった際に、容易にバージョンアップを行うことが可能です。	
その他の機能	
● <b>WWW ブラウザ設定対応</b> WWW ブラウザより NetGenesis の設定を行うことが可能です。	✓
● <b>パスワード機能 (管理者 ID とユーザー ID)</b> 管理者用 / ユーザー用の ID、パスワードを設定することにより、NetGenesis の設定情報を保護することが可能です。	

## 1-2. 付属品の確認

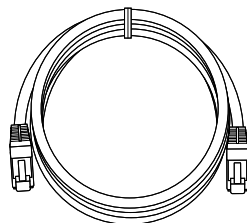
梱包内容に以下の品目が揃っているか確認して下さい。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 本体                         | <input type="checkbox"/> 電源アダプター(図1)     |
| <input type="checkbox"/> カテゴリ5e ツイストペアストレートケーブル(図2) | <input type="checkbox"/> クイックスタートガイド(本書) |
| <input type="checkbox"/> CD-ROM(マニュアル)              | <input type="checkbox"/> 保証書             |
| <input type="checkbox"/> 横置き用ゴム足(4個)                |  |

● 図1 電源アダプター



● 図2 カテゴリ5e ツイストペアケーブル



確認

梱装箱および梱包材は大切に保管し、長期保存する場合等に使用して下さい。

## 2. ルータの設置

### 2-1. 設置前に確認すること

#### ●回線接続(開通)の確認

NetGenesisを設置する前に、回線終端装置をパソコンに直接接続して、インターネットへ接続できることを確認して下さい。(NetGenesisを使用しない状態で、インターネットへ接続できるか確認して下さい。)  
接続できない場合は、回線接続業者等にご相談下さい。

#### ●NetGenesisに複数台のパソコンを接続する場合

NetGenesisに複数台のパソコンを接続する場合は、最初に1台のパソコンのみを接続し、すべての設定が完了してインターネットへ接続できることを確認してから、他のパソコンを接続して下さい。

#### ●ルータタイプの回線終端装置使用時の注意

回線事業者から提供された回線終端装置にルータ機能が搭載されている場合、回線終端装置の設定によっては、NetGenesisのLANポートIPアドレスの変更が必要になります。

##### ■回線終端装置をブリッジモードで動作させる場合

NetGenesisのLANポートIPアドレスを変更する必要はありません。

本書に沿って設定を進めて下さい。

※ブリッジモードで動作させる方法等は、回線終端装置のマニュアル等を参照して下さい。

##### ■回線終端装置をルータモードで動作させる場合

回線終端装置のLAN側プライベートネットワークアドレスを確認して下さい。

(確認方法については回線終端装置のマニュアル等を参照して下さい。)

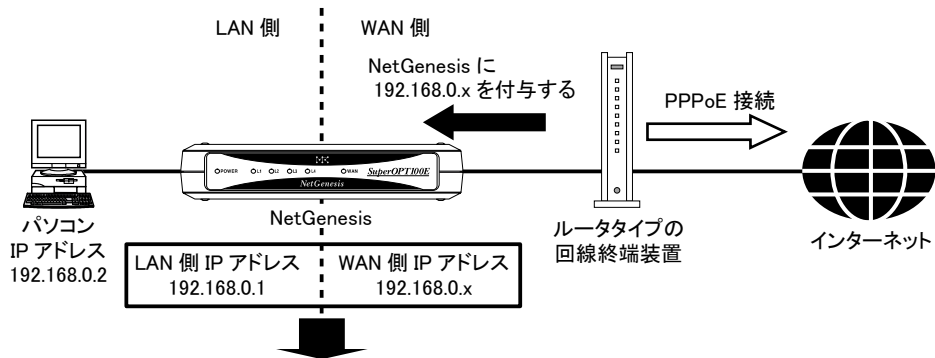
##### ◆回線終端装置のLAN側プライベートネットワークアドレスが 192.168.0.x (x = 1~254) 以外の場合

→NetGenesisのLANポートIPアドレスの変更は必要ありません。

本書に沿って設定を進めて下さい。

##### ◆回線終端装置のLAN側プライベートネットワークアドレスが 192.168.0.x (x = 1~254) の場合

→NetGenesisのLANポートIPアドレス(工場出荷値:192.168.0.1)とWANポート(DHCPクライアント機能)が自動取得するIPアドレスが同一ネットワークになってしまうため、インターネットへ接続することができません。



NetGenesisのWAN側とLAN側のIPアドレスがともに「192.168.0.x」(同一ネットワーク)のため、LAN側のパソコンからインターネット接続できない。


この場合は、付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)の「1-2 接続を行う前に確認すること」を参照して以下の設定を行って下さい。

- ・NetGenesisのLANポートIPアドレスを192.168.0.x以外(192.168.100.1等)に変更する。
- ・変更したNetGenesisのLANポートIPアドレスに合わせて、DHCPサーバー機能の設定を変更する。

## ● MAC アドレス記憶型の回線終端装置について (CATV や Yahoo!BB ADSL 等)


回線終端装置の中には、接続されているネットワーク機器の MAC アドレス (物理アドレス) を記憶する機種があります。この種類の回線終端装置は、記憶している MAC アドレス以外とは通信を行わないため、新たに NetGenesis を接続しても通信を行うことができません。

MAC アドレス記憶型の回線終端装置を使用している場合は、回線終端装置の電源を 30 分程度 OFF にして、記憶している MAC アドレスを消去するか、NetGenesis の MAC アドレス変更機能を使用して対処して下さい。

 確認	回線終端装置が記憶している MAC アドレスが消去されるまでの時間は、回線終端装置の機種により異なります。詳細については、回線事業者にお問い合わせ下さい。 MAC アドレス変更機能については、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して下さい。
---	--


## ● IP アドレスの解放について (CATV や Yahoo!BB ADSL 等)

ISP から IP アドレスを自動取得してインターネットへ接続している場合、NetGenesis を導入する前に回線終端装置と接続しているパソコン (もしくはルータ) の IP アドレスを解放する (ISP へ返す) 必要があります。

 確認	フレッツ 光ネクストや B フレッツ、フレッツ・ADSL、eo 光、Yahoo! BB 光 with フレッツ等、PPPoE 接続を行う場合は、本作業をする必要はありません。
---	---

IP アドレスを自動付与する ISP では「1 ユーザー = 1 つの IP アドレス」となるため、パソコンが ISP から IP アドレスを取得したままの状態では、NetGenesis の WAN ポートが IP アドレスを自動取得することはできません。

Windows でパソコンの IP アドレスを解放する方法について次項を参照して下さい。

 確認	ルータの WAN ポート IP アドレスを解放する方法については、ルータのマニュアル等を参照して下さい。 Mac OS の場合、パソコン側から IP アドレスを解放することができないため、ISP 側のリース期限 (IP アドレスの付与時間) が満了となるまで、ISP から取得した IP アドレスは解放されません。 パソコンの電源を OFF にして、しばらく時間をおいてから NetGenesis とパソコンを接続して下さい。 IP アドレスの解放は、必ず NetGenesis とパソコンを接続する前に行ってください。
---	---

### ◆ Windows XP で IP アドレスを解放する方法

以下の手順で IP アドレスの解放を行ってください。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] と順番にクリックして下さい。
- ② 「コマンドプロンプト」画面が表示されます。
- ③ 「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押して下さい。  
「IP Address」欄に値が表示されていることを確認して下さい。
- ④ 「ipconfig /release」を入力して「Enter」キーを押して下さい。  
※「ipconfig」と「/release」の間に半角スペースを入れて下さい。  
「IP address successfully released.....」と表示されたことを確認して下さい。
- ⑤ 再度「ipconfig」を入力して「Enter」キーを押して下さい。
- ⑥ 「IP Address」欄が「0.0.0.0」になったことを確認して、「コマンドプロンプト」画面は [ × ] ボタンをクリックする等して閉じて下さい。

以上で IP アドレスの解放は完了です。

### ◆ Windows 7/Vista で IP アドレスを解放する方法

以下の手順で IP アドレスの解放を行ってください。

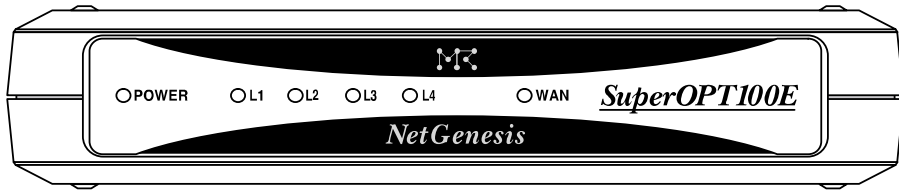
- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] と順番にクリックして下さい。
- ② 「コマンドプロンプト」画面が表示されます。
- ③ 「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押して下さい。  
「IPv4 アドレス」欄に値が表示されていることを確認して下さい。
- ④ 「ipconfig /release」を入力して「Enter」キーを押して下さい。  
※「ipconfig」と「/release」の間に半角スペースを入れて下さい。
- ⑤ 「IPv4 アドレス」欄が消えたことを確認して、「コマンドプロンプト」画面は [ × ] ボタンをクリックする等して閉じて下さい。

以上で IP アドレスの解放は完了です。

## 2-2. 各部の説明

本体各部の説明をします。

### ●正面(モニタランプ)



**POWER** : NetGenesisの電源がONのときに点灯します。

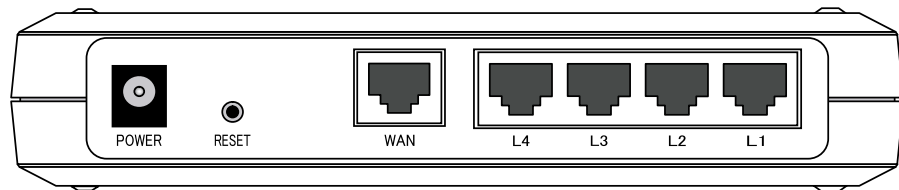
**L1 ~ L4, WAN** : 各ポートの状態、リンク速度を表します。

グリーンで点灯 = 100Mbps でリンク確立中

オレンジで点灯 = 10Mbps でリンク確立中

点滅 = データ通信中

### ●背面(コネクタ)



**POWER** : 電源アダプター用コネクタです。付属の電源アダプターを接続します。

本製品に電源スイッチはありません。

電源アダプターを接続すると電源ON、抜くと電源OFFとなります。

確認

電源アダプターを接続するときは、確実に差し込んで下さい。

電源アダプターが接触不良を起こした状態で使用すると、動作不良や故障の原因となります。

必ず製品付属の専用電源アダプターを使用して下さい。

専用電源アダプター以外を使用すると、動作不良や故障の原因となります。

**RESET** : NetGenesisの設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。

「RESET」ボタンを先の細い棒等で押したまま電源を投入(電源アダプターを接続)し、そのまま10秒以上押し続けるとすべての設定が工場出荷値に戻ります。

(RESETボタンは電源投入後、10秒以上押し続けて下さい。)

**WAN** : WANポートです。回線終端装置と接続します。

通信速度(10/100Mbps)の設定はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

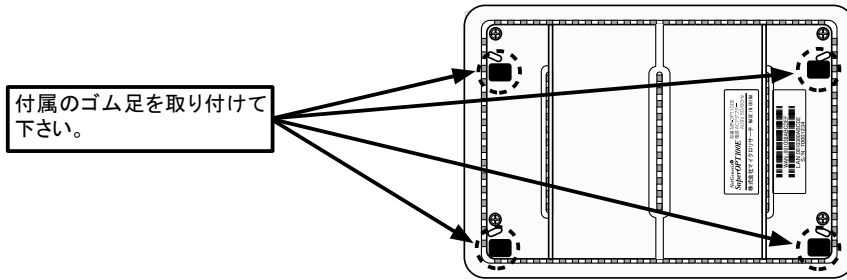
**L1 ~ L4** : LANポート1 ~ 4です。パソコンやHUB等と接続します。

通信速度(10/100Mbps)の設定はオートネゴシエーションによって自動的に設定されます。

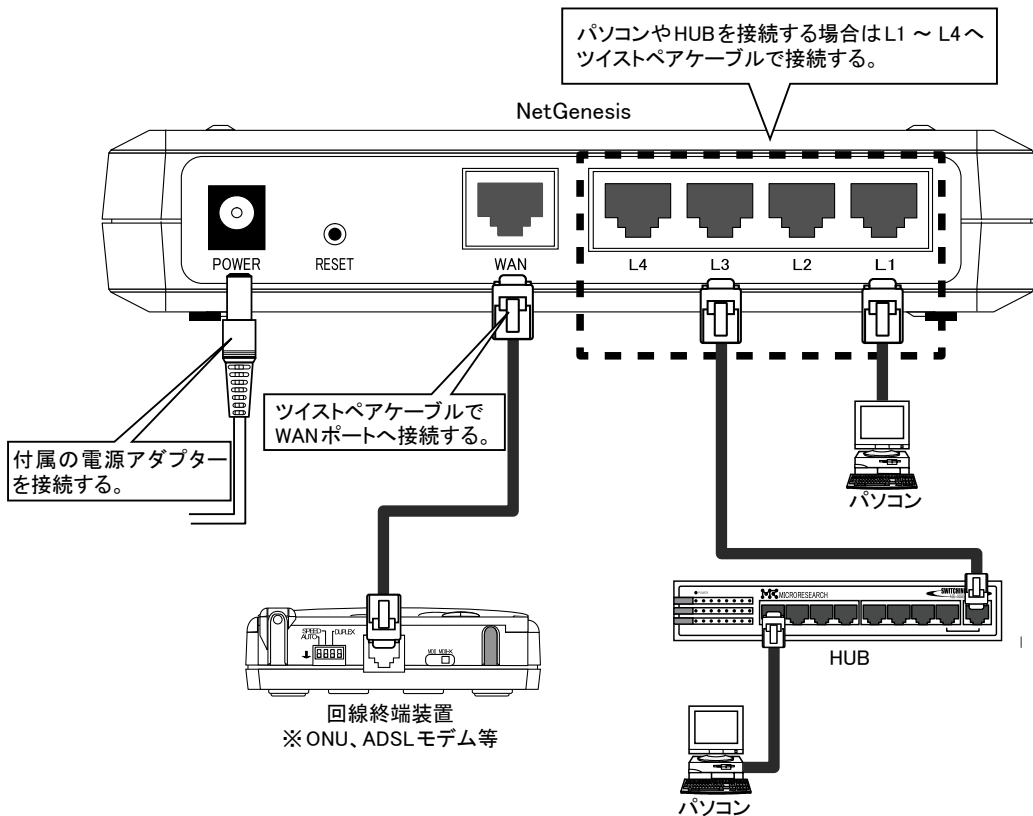
## 2-3. 各機器との接続

NetGenesisと各機器の接続について説明します。

設置する前に、底面四隅に付属のゴム足を取り付けて下さい。



ゴム足の取り付けが完了しましたら、以下の接続にしたがって、各機器を接続して下さい。



各機器との接続が完了しましたらNetGenesisの電源をONにした後、パソコンの電源をONにして下さい。

確認	NetGenesisのL1～L4ポート及びWANポートは、ツイステアケーブルのストレート/クロスを自動的に判別し、切り替えを行います。
	回線終端装置に通信速度の切り替えスイッチが付いている場合は、Autoモード(オートネゴシエーション有効)に設定して下さい。 詳しくは回線終端装置のマニュアルを参照して下さい。
	LAN内に複数のNetGenesisを設置する場合は、添付のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)をWWWブラウザで参照して設定を行って下さい。 (NetGenesisのLANポートIPアドレスやDHCPサーバーの設定変更が必要です。)
	NetGenesisに複数台のパソコンを接続する場合は、最初に1台のパソコンのみを接続し、すべての設定が完了してインターネットへ接続できることを確認してから、他のパソコンを接続して下さい。

## 2-4. インターネットへ接続するための設定手順について

本書で説明する設定では、NetGenesisのDHCPサーバー機能を使用します。

### ◆DHCPサーバーの工場出荷値の設定について

NetGenesisのDHCPサーバー設定は工場出荷設定時、以下のようになっています。

☑DHCPサーバー機能を使用する		
先頭IPアドレス/サブネット	192.168.0.2/24	<a href="#">サブネットについて</a>
付与IPアドレス数	253	(最大253個)
ゲートウェイ	192.168.0.1	
<hr/>		
<input type="checkbox"/> WAN側から取得したDNS情報を優先する		
PPPoE接続時は	PPPoEセッション1	を使用する
プライマリDNS	192.168.0.1	
セカンダリDNS		
サードDNS		
フォースDNS		
<hr/>		
<input checked="" type="checkbox"/> WAN側から取得したドメイン名を優先する		
ドメイン名		
<hr/>		
<input checked="" type="checkbox"/> WAN側から取得したリース期限を優先する		
リース期限(時間:分:秒)	24:00:00	
◆「00:15:00」(15分)以下の時間は設定できません。		

- ①DHCPサーバー機能を使用する  
→チェック有り。(使用する。)
- ②先頭IPアドレス/サブネット  
→「192.168.0.2」から「192.168.0.3」、「192.168.0.4」・・・と順番に付与します。  
サブネットマスクは「255.255.255.0」を付与します。
- ③付与IPアドレス数  
→「192.168.0.2」から順番に253個のIPアドレスを付与します。
- ④ゲートウェイ  
→「192.168.0.1 (NetGenesisのLANポートIPアドレス)」を付与します。
- ⑤WAN側から取得したDNS情報を優先する  
→チェック無し。(優先しない。)  
WAN側(ISP)からDNS情報の自動取得に成功しても、パソコン側へは付与しません。  
PPPoEマルチセッション機能を使用する場合は、必ず「チェック無し」(優先しない)のまま使用して下さい。
- ⑥プライマリ～フォースDNS  
→プライマリDNSとして「192.168.0.1 (NetGenesisのLANポートIPアドレス)」を付与します。  
セカンダリ～フォースDNSは付与しません。
- ⑦WAN側から取得したドメイン名を優先する  
→チェック有り。(優先する。)  
WAN側(ISP)からドメイン名の自動取得に成功した場合、そのドメイン名をパソコン側へ付与します。
- ⑧ドメイン名  
→空欄。(指定無し。)
- ⑨WAN側から取得したリース期限を優先する  
→チェック有り。(優先する。)  
WAN側(ISP)からリース期限の自動取得に成功した場合、そのリース期限をパソコン側へ付与します。
- ⑩リース期限  
→24時間。

確認

NetGenesisのDHCPサーバーの設定値を変更する場合や、DHCPサーバー機能を使用しない場合の設定については付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)をWWWブラウザで参照して設定を行って下さい。

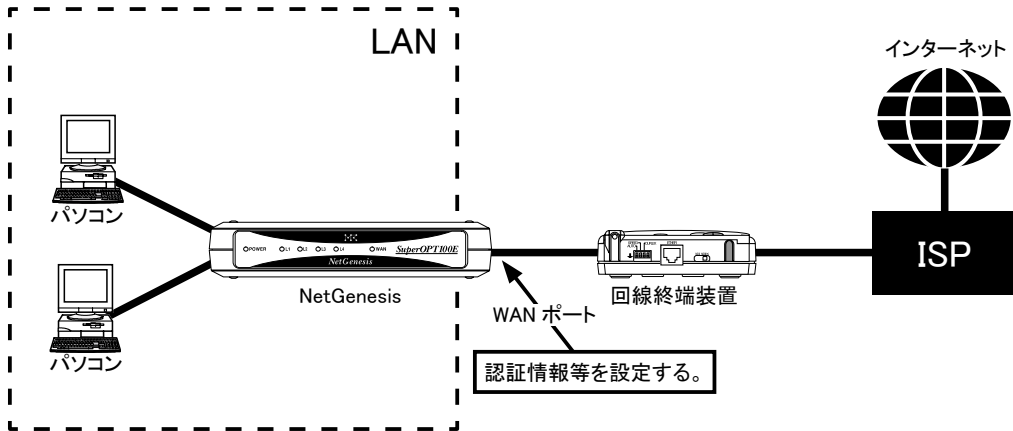
<次ページへ進んで下さい>

## ◆フレッツ(PPPoE)簡単設定を行う

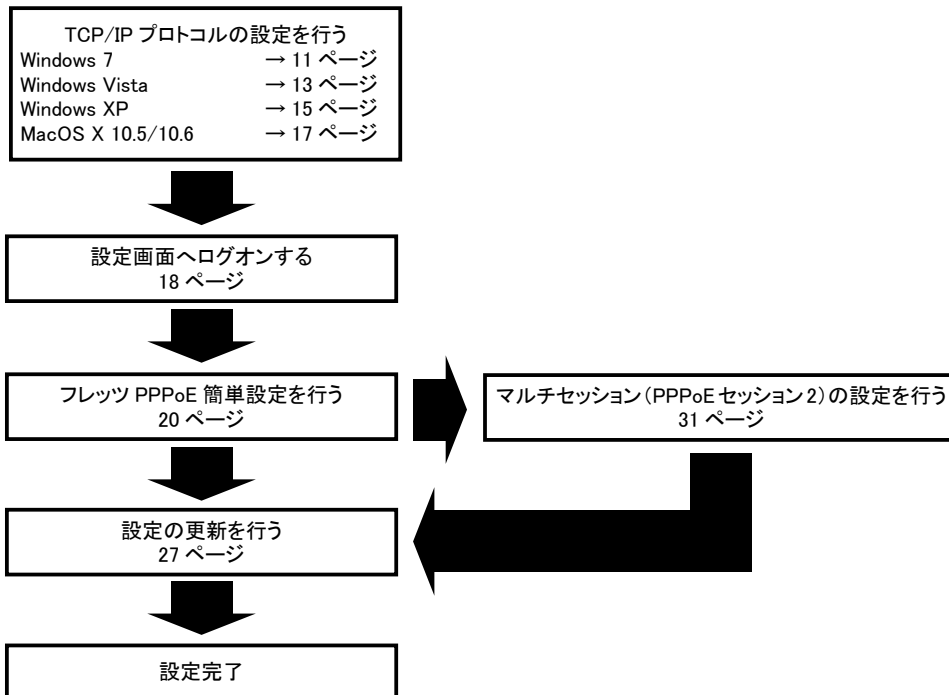
フレッツ 光ネクストやBフレッツ、フレッツ・ADSL、e<sub>o</sub>光等、PPPoEクライアント機能を使用してインターネットへ接続する場合、「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うことにより、必要最低限の設定を行うだけで、インターネットへ接続することができます。

確認

フレッツ(PPPoE)簡単設定は PPPoE セッション1に「ユーザー名」、「パスワード」、「DNS サーバー」のみ設定します。PPPoE セッション1により詳細な設定が必要な場合は、添付の CD-ROM に収録されている ユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を WWW ブラウザ で参照して設定を行って下さい。



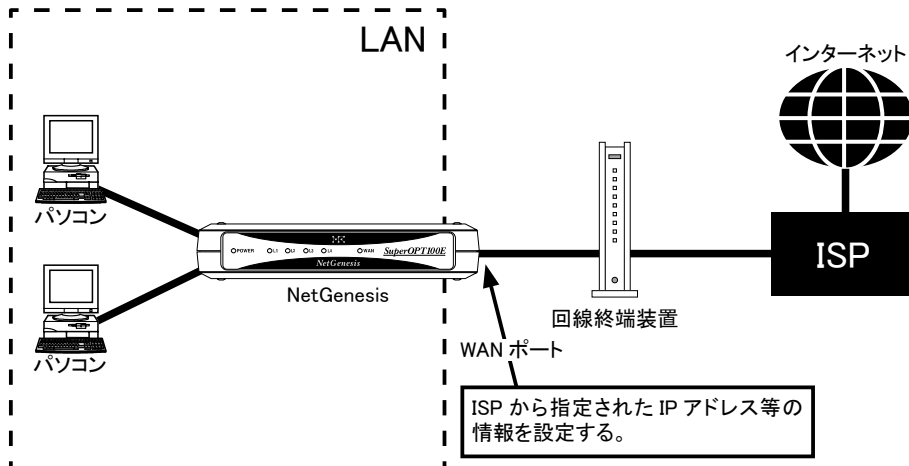
## ●設定完了までの流れ





## ◆ WANポートの設定を行う

ISPからIPアドレスを自動取得する場合や、ISPから指定されたIPアドレスを設定する場合の設定手順について説明します。



## ● 設定完了までの流れ

TCP/IP プロトコルの設定を行う	
Windows 7	→ 11 ページ
Windows Vista	→ 13 ページ
Windows XP	→ 15 ページ
MacOS X 10.5/10.6	→ 17 ページ

設定画面へログオンする  
18 ページ

WANポートの設定を行う  
20 ページ

設定の更新を行う  
27 ページ

設定完了

確認

Yahoo!BB ADSL や一部の CATV 等、ISP から IP アドレスを自動取得できる場合、NetGenesis の設定は工場出荷値のままインターネットへ接続することも可能です。  
(WANポート設定は工場出荷時「DHCPクライアント機能有効」の状態になっています。)  
その場合は、「パソコンの設定」(11 ページ)のみ行って下さい。

### 3. パソコンの設定

NetGenesis に接続するパソコンの TCP/IP 設定について説明します。  
以下を参照して下さい。

#### ● Windows 7 を接続する場合

→「3-1. Windows 7 (TCP/IP) の設定」(次項)を参照して下さい。

#### ● Windows Vista を接続する場合

→「3-2. Windows Vista (TCP/IP) の設定」(13 ページ)を参照して下さい。

#### ● Windows XP を接続する場合

→「3-3. Windows XP (TCP/IP) の設定」(15 ページ)を参照して下さい。

#### ● Mac OS X 10.5/10.6 を接続する場合

→「3-4. Mac OS X 10.5/10.6 (TCP/IP) の設定」(17 ページ)を参照して下さい。

確認

Windows 98/Me/2000、Mac OS X 10.2/10.3/10.4、Mac OS 9 の設定については、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して下さい。

本書ではパソコンの TCP/IP 設定を NetGenesis から自動取得する方法のみ説明しています。  
TCP/IP 設定を固定する場合は、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して下さい。

### 3-1. Windows 7 (TCP/IP) の設定

Windows 7 を接続する場合の TCP/IP プロトコルの設定について説明します。

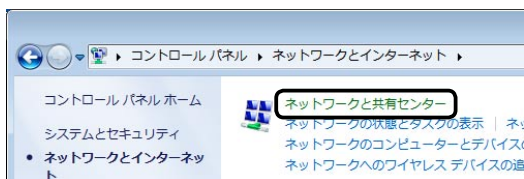
以下の手順で TCP/IP プロトコルを設定して下さい。

① [スタート] → [コントロールパネル] の順番にクリックして下さい。

② [ネットワークとインターネット] をクリックして下さい。



③ [ネットワークと共有センター] をクリックして下さい。

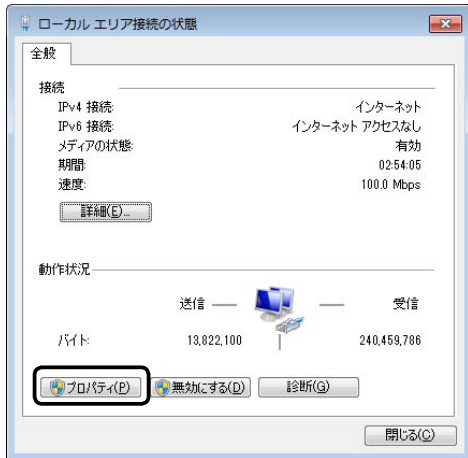


④ [ネットワークと共有センター] が開きますので、[ローカルエリア接続] をクリックして下さい。

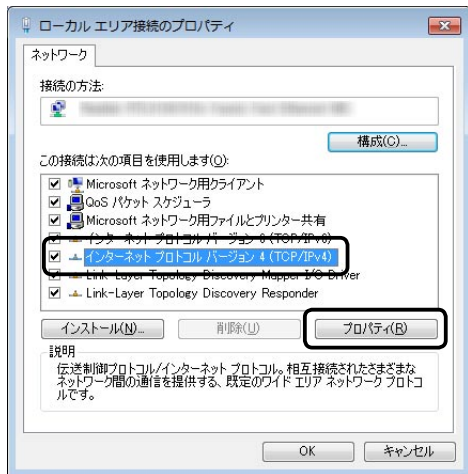


<次ページへ進んで下さい>

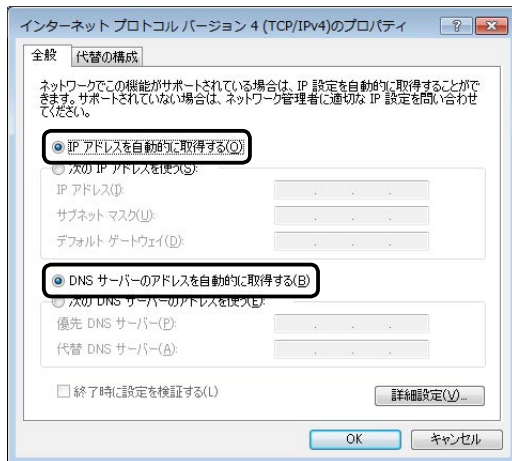
⑤ [ローカルエリア接続の状態]が開きますので、[プロパティ]ボタンをクリックして下さい。



⑥ 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックして下さい。



⑦ [IPアドレスを自動的に取得する]、及び [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択して、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
設定が完了しましたら、各画面で [OK] ボタンをクリックして下さい。



以上で設定は完了です。

「4. ルーターの設定」(18ページ)へ進んで下さい

## 3-2. Windows Vista (TCP/IP) の設定

Windows Vista を接続する場合の TCP/IP プロトコルの設定について説明します。

以下の手順で TCP/IP プロトコルを設定して下さい。

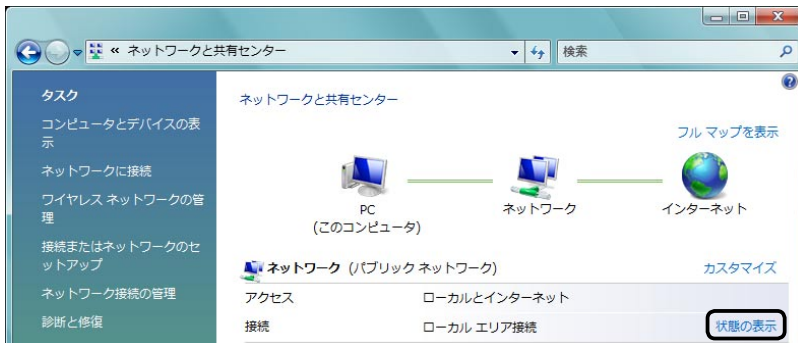
- ① [スタート] → [コントロールパネル] の順番にクリックして下さい。
- ② [ネットワークとインターネット] をクリックして下さい。



- ③ [ネットワークと共有センター] をクリックして下さい。



- ④ [ネットワークと共有センター] が開きますので、「ローカルエリア接続」の横の [状態の表示] をクリックして下さい。

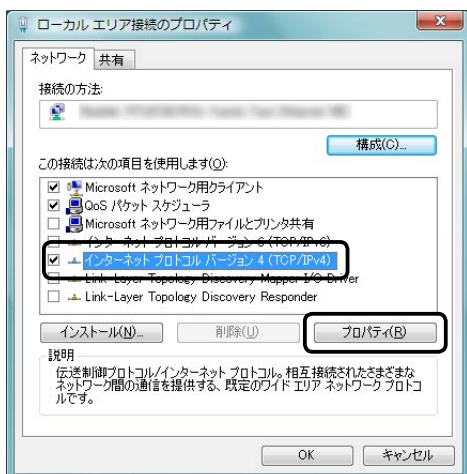


- ⑤ [ローカルエリア接続の状態] が開きますので、[プロパティ] ボタンをクリックして下さい。



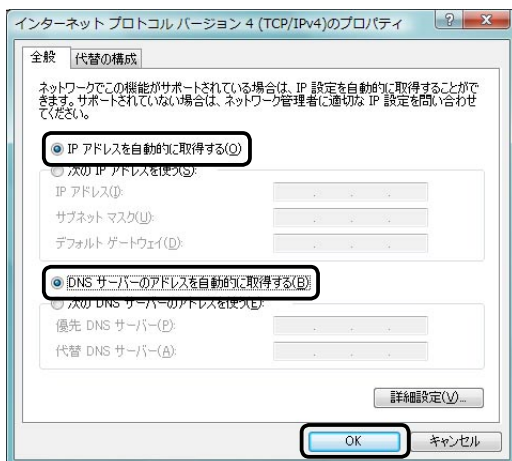
<次ページへ進んで下さい>

⑥「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックして下さい。



⑦「IPアドレスを自動的に取得する」、及び「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

設定が完了しましたら、各画面で[OK] ボタンをクリックして下さい。



以上で設定は完了です。

「4. ルーターの設定」(18 ページ)へ進んで下さい

### 3-3. Windows XP (TCP/IP) の設定

Windows XP を接続する場合の TCP/IP プロトコルの設定について説明します。

以下の手順で TCP/IP プロトコルを設定して下さい。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] の順番にクリックして下さい。
- ② [ネットワークとインターネット接続] をクリックして下さい。



- ③ [ネットワーク接続] をクリックして下さい。



- ④ [ローカル エリア接続] をダブルクリックして下さい。

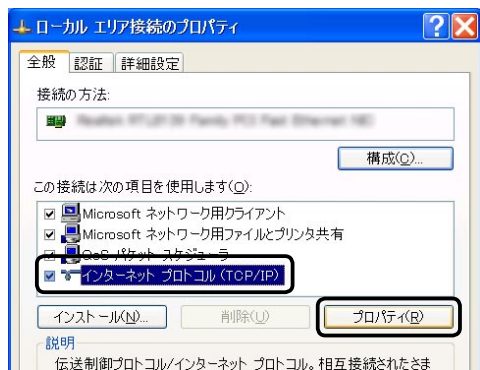


- ⑤ [プロパティ] ボタンをクリックして下さい。

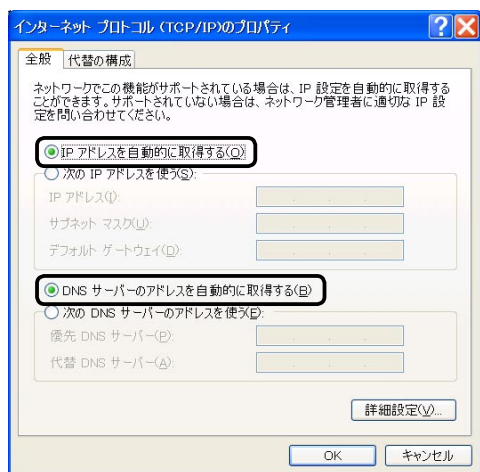


<次ページへ進んで下さい>

⑥ [インターネット プロトコル(TCP/IP)]を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックして下さい。



⑦ [IPアドレスを自動的に取得する]、及び [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択して、[OK]ボタンをクリックして下さい。  
設定が完了しましたら、各画面で [OK] ボタンをクリックして下さい。



以上で設定は完了です。

「4. ルーターの設定」(18ページ)へ進んで下さい。

### 3-4. Mac OS X 10.5/10.6(TCP/IP)の設定

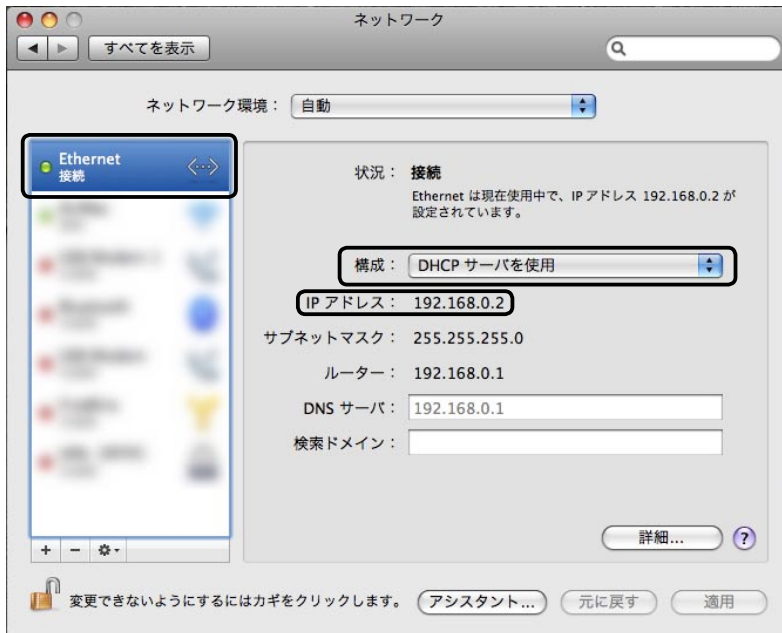
Mac OS X 10.5/10.6を接続する場合のTCP/IPプロトコルの設定について説明します。

確認

Mac OS X 10.2/10.3/10.4、Mac OS 9の設定については、付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)を参照して下さい。

以下の手順でTCP/IPプロトコルを設定して下さい。

- ① [アップルメニュー] → [システム環境設定] と順番にクリックして下さい。
- ② [ネットワーク] をクリックして下さい。
- ③ 「Ethernet」を選択して下さい。
- ④ [構成] で [DHCPサーバーを使用] を選択して下さい。
- ⑤ [IPアドレス] が「192.168.0.2 ~ 192.168.0.254」の範囲になっていることを確認して下さい。



- ⑥ 設定が完了しましたら、[適用] ボタンをクリックしてからウィンドウを閉じて下さい。  
(設定に変更が無い場合は [×] ボタンでウィンドウを閉じて下さい。)
- 「4. ルーターの設定」(次ページ)へ進んで下さい。



## 4. ルータの設定

NetGenesis の設定について説明します。

### 4-1. 設定画面へのログオン

WWW ブラウザから NetGenesis の設定画面にログオンする方法について説明します。

**確認** 以降、WWW ブラウザの画面は Internet Explorer (Windows) を例とします。  
また、WWW ブラウザ側で指定しているフォントサイズ等により、表示イメージが異なる場合があります。

#### ● WWW ブラウザ設定にあたっての注意事項

- ◆ NetGenesis の設定を行うためには、WWW ブラウザソフトウェアが必要です。  
※ Internet Explorer 6 以降を推奨します。
- ◆ 複数台のパソコンから、同時に NetGenesis の設定を更新しないようにして下さい。  
動作不良の原因となります。  
NetGenesis の設定は 1 台のパソコンから管理者等が行うようにして下さい。
- ◆ 設定画面の中の入力欄に文字を入力した後、Enter キーを押さないようにして下さい。  
設定画面内のボタンが意図しないときに押されてしまう場合があります。
- ◆ 各設定画面中のプルダウンメニューから項目を選択した後、そのままホイールマウスのホイールを使用して画面をスクロールさせると、選択した項目が変わってしまいますので注意して下さい。  
ホイールマウスを使用して画面をスクロールさせる場合は、設定画面中の他の場所(プルダウンメニューやボタン以外の場所)を一度クリックしてからホイールを使用して下さい。
- ◆ NetGenesis の設定が完了した場合、必ず「設定の更新」、「再起動」を行って下さい。  
「設定の更新」、「再起動」を行わないと、設定内容は動作に反映されませんので注意して下さい。
- ◆ NetGenesis の設定は 1 度行えば全てのパソコンで共用できます。  
接続する全てのパソコンから NetGenesis の設定を行う必要はありません。

#### ● 設定画面へのログオン

以下の手順で設定画面へログオンして下さい。

- ① WWW ブラウザを起動して下さい。
- ② WWW ブラウザのアドレス入力欄に NetGenesis の LAN ポート IP アドレス「192.168.0.1」(工場出荷値)を入力して「Enter」(Return) キーを押して下さい。



- ③ 以下のユーザー認証画面が表示されます。  
「ユーザー名」に「admin」(半角英小文字)を入力し、「パスワード」は空欄のまま [OK] ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

- ④「NetGenesis の設定」画面が表示されます。  
 (「NetGenesis の設定」画面へのログオン完了です。)



### はじめて本製品をご利用になる方へ

- PPPoEによるユーザー認証が必要なブ  
 [Bフレッツやフレッツ・ADSL、ひかりone、eo光 など]  
 → [フレッツ \(PPPoE\) 簡単設定](#) を行って下  
 [フレッツ (PPPoE) 簡単設定] は、PPPoEによる  
 接続するために、最低限必要な設定を行います。  
 <PPPoE セッション1へ設定を行います。他の設  
 PPPoE(マルチセッションなど)の詳細設定は  
[PPPoEポート 動作モード設定\(WANポートの設](#)
- CATVなど、プロバイダからIPアドレスを

<b>確認</b>	ログオンユーザー ID、パスワードを変更したい場合は、添付の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して下さい。
	「NetGenesis の設定」画面へログオンし直したい場合は、WWW ブラウザを再起動して下さい。
	ユーザー認証画面で [キャンセル] ボタンをクリックした場合や「ユーザー名」や「パスワード」の入力を 3 回続けて間違えた場合、「認証キャンセル」画面が表示されます。
	「認証キャンセル」画面が表示された場合は、WWW ブラウザを再起動して、ログオンし直して下さい。
	ユーザー認証画面が表示されない場合、「5-6. 困ったときは (Q&A)」(40 ページ) を参照して下さい。

以上で設定画面へのログオンは完了です。

「4-2. WAN ポートの設定」(次ページ) へ進んで下さい。

## 4-2. WANポートの設定

WANポートの設定について説明します。

確認

設定を行う前に、ISP等から提供された設定資料を用意して下さい。  
NetGenesisの設定は1度行えば全てのパソコンで共用できます。  
接続する全てのパソコンから設定を行う必要はありません。

- ◆ PPPoEによる認証情報を設定する場合(フレッツ 光ネクスト、Bフレッツ、フレッツ・ADSL、eo光等)  
→「4-2-1. フレッツ(PPPoE)簡単設定」(次項)へ進んで下さい。
- ◆ IPアドレス等の情報を自動取得する場合(CATV、Yahoo!BB ADSL等)  
→「4-2-2. DHCPクライアント機能を使う」(22ページ)へ進んで下さい。
- ◆ IPアドレス等の情報を固定する場合(CATV、IPアドレス固定のISP等)  
→「4-2-3. IPアドレスを固定する」(24ページ)へ進んで下さい。

### 4-2-1. フレッツ(PPPoE)簡単設定(フレッツ 光ネクスト、Bフレッツ、フレッツ・ADSL、eo光等)


フレッツ 光ネクストやBフレッツ、フレッツ・ADSL、eo光等、PPPoEクライアント機能を使用してインターネットへ接続する場合、「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うことにより、必要最低限の設定を行うだけで、インターネットへ接続することができます。

確認

「フレッツ(PPPoE)簡単設定」で行った設定内容は「PPPoEポート1(セッション1)」に設定されます。  
「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行った場合、回線の接続方法は「常時接続」になります。  
「自動接続」や「手動接続」に設定する場合は、添付のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htm ファイル)を参照して設定を行って下さい。  
「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うと、設定内容は工場出荷値に戻ります。  
既存の設定内容を確認する場合や一部修正する場合は、「PPPoEクライアント設定」から行って下さい。  
【PPPoEクライアント設定画面を開く手順】  
①設定画面へログイン  
②「WANポートの設定」をクリック  
③「PPPoEポート 動作モード設定」をクリック  
④[セッション1 詳細設定]ボタンをクリック

以下の手順で「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行って下さい。

- ①「フレッツ(PPPoE)簡単設定」の文字をクリックして下さい。



はじめて本製品をご利用になる方へ

- PPPoEによるユーザー認証が必要なフレッツやフレッツ・ADSL、ひかりone、eo光等  
→ **フレッツ(PPPoE)簡単設定** を行って

【フレッツ(PPPoE)簡単設定】は、PPPoEによる接続するために、最低限必要な設定を行います。他の(PPPoEセッション1へ設定を行います。他の

- ②以下の警告画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックして下さい。

“フレッツ(PPPoE)簡単設定”を行うと、設定が全て工場出荷値に戻ります。

例)・LANポートIPアドレスが 192.168.0.1/24 に戻ります。  
・DHCPサーバー機能が有効になります。  
・HUBポートの全ての設定が工場出荷値に戻ります。  
(QoS機能やVLAN機能等が無効になります。)

“フレッツ(PPPoE)簡単設定”を行いますか？  
〔設定対象:PPPoEポート1(セッション1)〕

<次ページへ進んで下さい>

- ③「フレッツ (PPPoE) 簡単設定」画面が開きます。  
以下の各項目を設定して下さい。

### フレッツ (PPPoE) 簡単設定

【 設定対象: PPPoE ポート1 (セッション1) 】

Bフレッツやフレッツ・ADSLなど、PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダへ接続するために、最低限必要な設定を行います。

下記以外の設定は全て工場出荷値に戻ります。

#### 接続情報(アカウント)の設定

プロバイダから入手した資料を元に正しく設定して下さい。  
(半角大文字・小文字を間違えないように注意して下さい。)

ユーザー名

○○○○○@△△△△△.ne.jp など、プロバイダから指定されたユーザー名を正しく入力して下さい。

パスワード

パスワード再入力

#### DNS情報の設定

プロバイダからDNS(ネームサーバー)のアドレスが指定されている場合は必ず入力して下さい。  
(特に指定されていない場合は空欄でかまいません。)

プライマリDNS

セカンダリDNS

すべての設定が完了したらクリックして下さい。

- ◆ユーザー名  
→ISP から指定されたユーザー名(アカウント名、ユーザー ID、ログオンID等)を半角英数字で入力して下さい。  
※「ユーザー名」は「xxxxx @ xxxxx.ne.jp」等、「@」を含めて全て入力して下さい。
- ◆パスワード、パスワード再入力  
→ISP から指定されたパスワードを半角英数字で入力して下さい。
- ◆プライマリDNS、セカンダリDNS  
→ISP から指定されたDNSサーバー(ネームサーバー)のIPアドレスを入力して下さい。  
ISP の資料を参照して、特に記載が無い場合はそのまま空欄にして下さい。

<b>確認</b>	<p>[ユーザー名]と[パスワード]を入力する際、半角大文字と小文字を間違えないよう注意して下さい。</p> <p>DNSサーバー IP アドレスがISP から自動付与されている場合、NetGenesis が自動取得することができます。</p> <p>DNSサーバー IP アドレスの自動取得に成功した場合、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」で入力したDNSサーバー IP アドレスよりも自動取得したDNSサーバー IP アドレスが優先されます。</p>
-----------	---

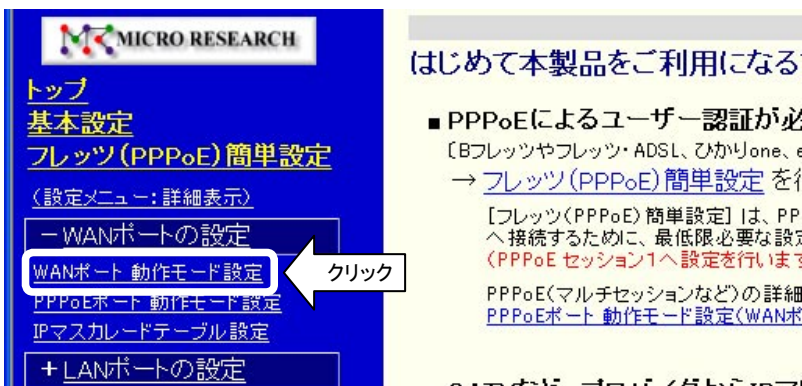
- ④設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

以上で「フレッツ (PPPoE) 簡単設定」は完了です。  
「4-3. 設定の更新」(27ページ)へ進んで下さい。

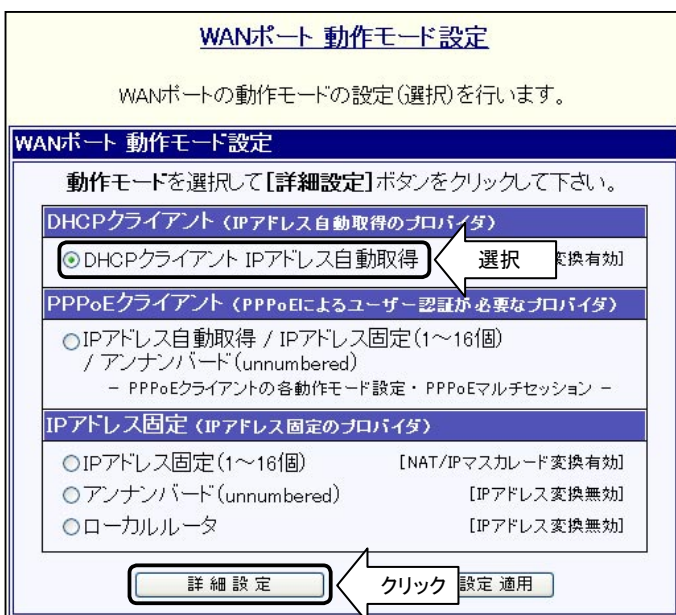
#### 4-2-2. DHCPクライアント機能を使う(CATV、Yahoo!BB ADSL等)

WANポートで「DHCPクライアント機能を使用する」場合の設定について説明します。

①[WANポートの設定]をクリックし、[WANポート 動作モード設定]をクリックして下さい。



②「WANポート動作モード設定」画面が開きますので、「DHCPクライアント」欄の「DHCPクライアント IPアドレス自動取得」を選択して、「詳細設定」ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>



③「DHCPクライアント設定」画面が開きますので、以下の各項目を設定して下さい。

### DHCPクライアント設定

【 IPアドレス自動取得 / IPアドレス変換有効 】

**DHCPクライアントのオプション設定**  
ホスト名(コンピュータ名)

**DMZホスト機能の設定**  
 DMZホスト機能を使用する  
◆ 転送先IPアドレスの設定や有効/無効の切り替えは、[DMZホスト制御]で行って下さい。

**IPアドレス変換の設定**  
セッション情報保持時間  (工場出荷値:3分)

<<画面一部省略>>

**DNS情報の設定**  
 WAN側から取得したDNS情報を優先する  
プライマリDNS   
セカンダリDNS   
サードDNS   
フォースDNS

**UPnPニックネーム(接続名称)の設定**  
UPnPニックネーム(接続名称)  (半角英数字のみ入力可能)  
◆ ここで設定するニックネームが「PC側に表示されるインターネットゲートウェイ上の接続名称」となります。

設定 元に戻す

すべての設定が完了したらクリックして下さい。

◆ホスト名(コンピュータ名)

→「ホスト名(コンピュータ名)」欄に必要なに応じて[ホスト名]を入力して下さい。  
契約しているISPによっては、ホスト名やコンピュータ名の入力が必要と場合があります。  
詳しくは、ISPから提供された設定資料等を参照するか、ISPにお問い合わせ下さい。  
ISPからホスト名の指定がない場合は、空欄にして下さい。

◆DNS情報の設定

→ISPから提供された設定資料等にDNSサーバーの情報がない場合は、[WAN側から取得したDNS情報を優先する]にチェックを入れて[プライマリDNS]から[フォースDNS]欄まで空欄にして下さい。  
DNSサーバーの情報がある場合は、[WAN側から取得したDNS情報を優先する]のチェックを外してDNSサーバーのIPアドレスを入力して下さい。

◆UPnPニックネーム(接続名称)の設定

→パソコン(Windows)側に表示される「インターネットゲートウェイ上の接続名称」を設定します。  
(半角英数字のみ、最大31文字まで設定可能です。)  
通常は変更する必要はありません。

<b>確認</b>	DMZホスト機能の設定、セッション情報保持時間、Windows Messenger変換の設定、PPTP変換の設定については本書では解説していません。 これらの機能を使用(変更)する場合は、添付のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)を参照して設定を行って下さい。
-----------	---

④設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

以上で、「WANポートの設定」は完了です。

「4-3. 設定の更新」(27ページ)へ進んで下さい。

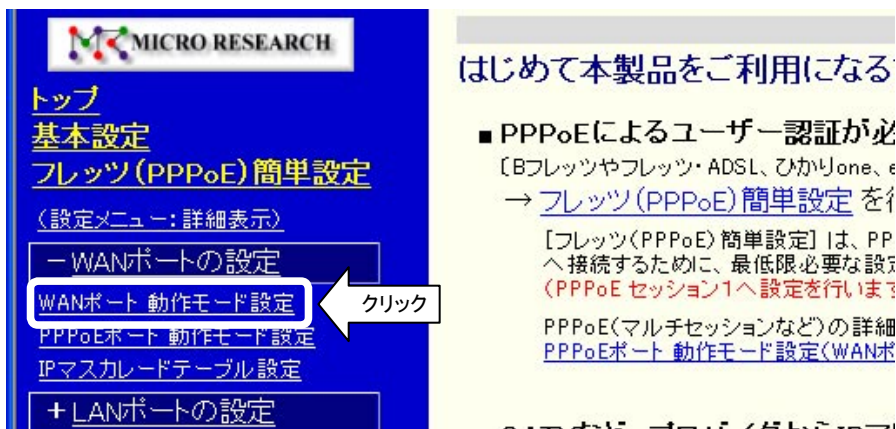
### 4-2-3. IPアドレスを固定する(CATV、IPアドレス指定のISP等)

WANポートに「IPアドレスを固定する」場合の設定について説明します。

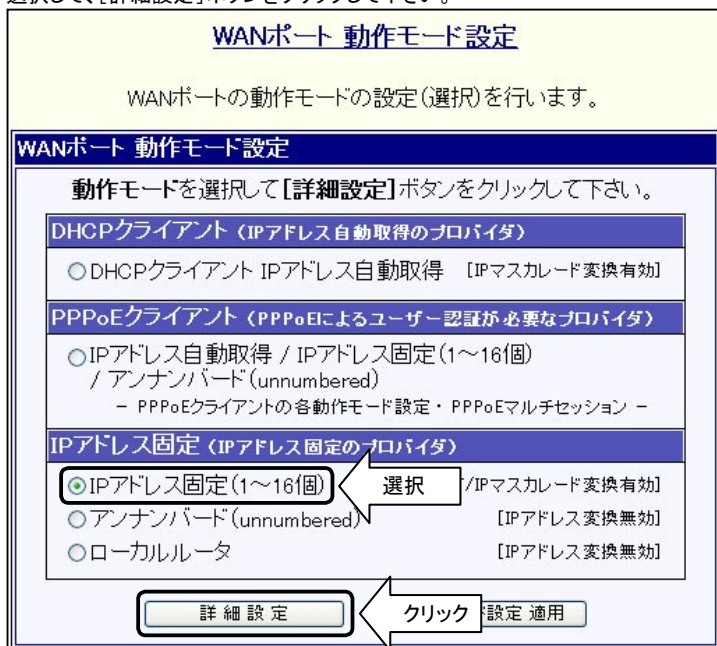
確認

本書ではIPアドレスを1個固定する設定のみ説明しています。  
複数のIPアドレスを使用する場合は、付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htmファイル)を参照して設定して下さい。

①[WANポートの設定]をクリックし、[WANポート 動作モード設定]をクリックして下さい。



②「WANポート 動作モード設定」画面が開きますので、「IPアドレス固定」欄の「IPアドレス固定(1～16個)」を選択して、「詳細設定」ボタンをクリックして下さい。



<次ページへ進んで下さい>

③「IPアドレス固定(1～16個)設定」画面が開きます。

IPアドレス固定(1～16個)設定

[ IPアドレス変換有効 ]

WAN側 ネットワークの設定

ネットワークアドレス/サブネット  [サブネットについて](#)

デフォルトゲートウェイ

IPアドレス変換の設定

変換用ネットワークの設定

WAN側 IPマスカレード変換用IPアドレス

サブネット (変換IPアドレス数) 255.255.255.255 (/32・1個) ▼

LAN側 変換後の先頭IPアドレス

④ISPから提供された資料等を参照して、「WAN側ネットワークの設定」欄を設定して下さい。

WAN側 ネットワークの設定

ネットワークアドレス/サブネット xxx.xxx.xxx.0/24 [サブネットについて](#)

デフォルトゲートウェイ xxx.xxx.xxx.250

◆ネットワークアドレス/サブネット

- ISPから指定されたネットワークアドレス、及びサブネットを入力して下さい。
- ネットワークアドレスがわからない場合は、ISPから指定されたIPアドレスを入力して下さい。
- サブネットがわからない場合は、入力欄右の「サブネットについて」のリンクをクリックして下さい。
- サブネットの入力についてのヘルプ画面が開きます。

◆デフォルトゲートウェイ

- ISPから指定されたデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力して下さい。

<b>確認</b>	入力する設定値を間違えないよう、くれぐれも注意して下さい。 設定値を誤ったまま設定を更新すると、ISPや他の利用者に多大な迷惑をかける恐れがあります。
-----------	--

⑤「変換用ネットワークの設定」欄を設定して下さい。

IPアドレス変換の設定

変換用ネットワークの設定

WAN側 IPマスカレード変換用IPアドレス xxx.xxx.xxx.123

サブネット (変換IPアドレス数) 255.255.255.255 (/32・1個) ▼

LAN側 変換後の先頭IPアドレス 192.168.0.1

◆WAN側IPマスカレード変換用IPアドレス

- ISPから指定されたIPアドレスを入力して下さい。

<b>確認</b>	入力する設定値を間違えないよう、くれぐれも注意して下さい。 設定値を誤ったまま設定を更新すると、ISPや他の利用者に多大な迷惑をかける恐れがあります。
-----------	--

◆サブネット(変換IPアドレス数)

- [255.255.255.255 (/32・1個)]を選択して下さい。

◆LAN側変換後の先頭IPアドレス

- NetGenesisのLANポートIPアドレス「192.168.0.1」(工場出荷値)を入力して下さい。

<次ページへ進んで下さい>



⑥ ISPから提供された資料等を参照して、DNSサーバー（ネームサーバー）のIPアドレスを入力して下さい。

DNS情報の設定	
プライマリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.200"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.201"/>
サードDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.202"/>
フォースDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.203"/>

<b>確認</b>	<p>プライマリDNSは必ず入力して下さい。 セカンダリDNS～フォースDNSは必要に応じて入力して下さい。</p>
-----------	--

⑦ UPnPニックネーム（接続名称）の設定を確認して下さい。

UPnPニックネーム（接続名称）の設定	
UPnPニックネーム（接続名称）	<input type="text" value="WAN connection"/> <small>（半角英数字のみ入力可能）</small>
◆ここで設定するニックネームが「PC側に表示されるインターネットゲートウェイ上の接続名称」となります。	

パソコン（Windows）側に表示される「インターネットゲートウェイ上の接続名称」を設定します。  
（半角英数字のみ、最大31文字まで設定可能です。）  
通常は変更する必要はありません。

⑧設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

**IPアドレス固定（1～16個）設定**

[ IPアドレス変換有効 ]

WAN側 ネットワークの設定	
ネットワークアドレス/サブネット	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.0/24"/> <a href="#">サブネットについて</a>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.250"/>
IPアドレス変換の設定	
変換用ネットワークの設定	
WAN側 IPマスカレード変換用IPアドレス	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.123"/>
サブネット（変換IPアドレス数）	<input type="text" value="255.255.255.255（/32・1個）"/> ▼
LAN側 変換後の先頭IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
≪画面一部省略≫	
DNS情報の設定	
プライマリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.200"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.201"/>
サードDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.202"/>
フォースDNS	<input type="text" value="xxx.xxx.xxx.203"/>
UPnPニックネーム（接続名称）の設定	
UPnPニックネーム（接続名称）	<input type="text" value="WAN connection"/> <small>（半角英数字のみ入力可能）</small>
◆ここで設定するニックネームが「PC側に表示されるインターネットゲートウェイ上の接続名称」となります。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">すべての設定が完了したらクリックして下さい。</div>	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	

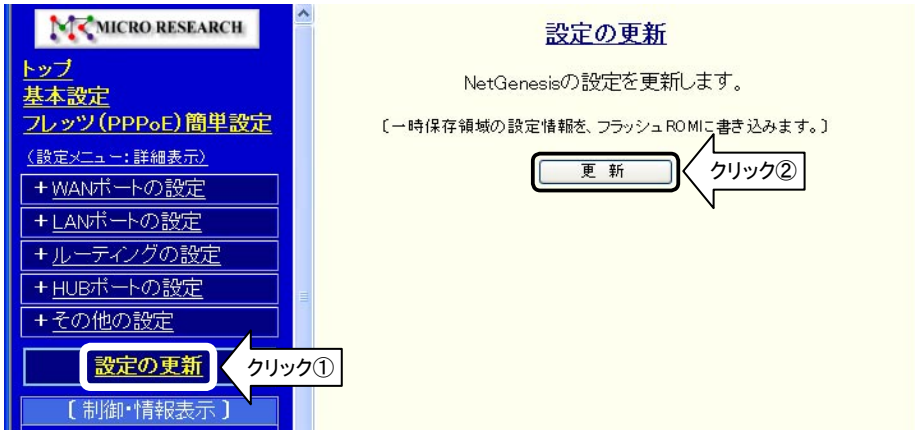
<b>確認</b>	<p>DMZホスト機能の設定、セッション情報保持時間、Windows Messenger変換の設定、PPTP変換の設定については本書では解説していません。 これらの機能を使用（変更）する場合は、添付のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル（manual.htmファイル）を参照して設定を行って下さい。</p>
-----------	---

以上で、「WANポートの設定」は完了です。  
「4-3. 設定の更新」（次ページ）へ進んで下さい。

### 4-3. 設定の更新

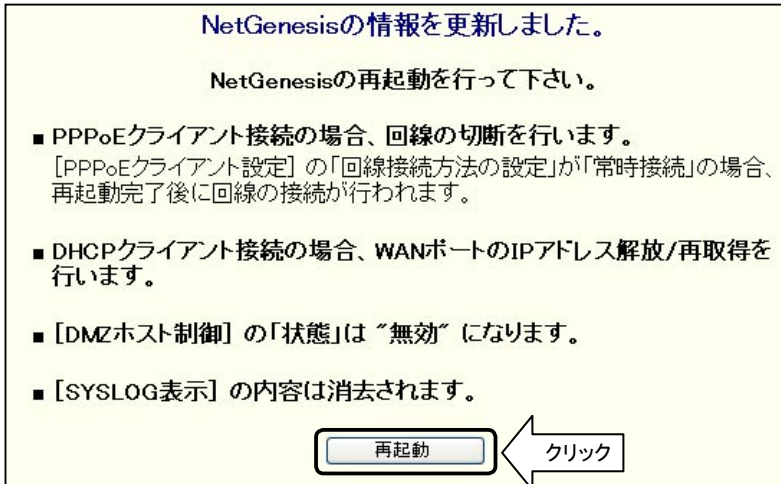
設定内容の更新について説明します。

①すべての設定が完了しましたら、「設定の更新」の文字をクリックして下さい。

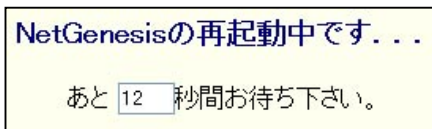


②「設定の更新」画面が表示されますので、「更新」ボタンをクリックして下さい。

③以下の画面が表示されますので、「再起動」ボタンをクリックして下さい。



④以下の画面が表示されますので、カウントダウンが完了し、画面が切り替わるまで何も操作しないで下さい。



⑤「NetGenesisの再起動が完了しました。」と表示されたら、設定内容の更新は完了です。

<b>確認</b>	再起動が完了した時点で、NetGenesisは自動的にISPとの接続を開始します。
	NetGenesisの設定は、内部のフラッシュROMに書き込まれますので、複数台のパソコンを接続する場合、2台目以降のパソコンから設定を再度行う必要はありません。 2台目以降のパソコンでは、「3. パソコンの設定」(11ページ)のみ行えば、インターネットへ接続することができます。

## 5. 付録

以下の内容について説明します。

- 5-1. ファームウェアバージョンとMACアドレスの確認方法(次項)
- 5-2. SYSLOG機能の使用法(次ページ)
- 5-3. PPPoE マルチセッション設定例(31ページ)
- 5-4. ISPから自動取得したIPアドレスの確認方法(38ページ)
- 5-5. IPv6ブリッジ機能の設定方法(39ページ)
- 5-6. 困ったときは(Q&A)(40ページ)
- 5-7. ユーザーサポートについて(47ページ)

### 5-1. ファームウェアバージョンとMACアドレスの確認方法

NetGenesisのファームウェアバージョンとMACアドレス(物理アドレス)の確認方法について説明します。

①「NetGenesisの設定」画面を起動して下さい。

※「4-1. 設定画面へのログオン」(18ページ)を参照して下さい。

②トップ画面の「本体情報」欄に、ファームウェアバージョン、MACアドレス等の各情報が表示されます。

NetGenesisの設定 トップ画面

はじめて本製品をご利用になる方へ

- PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダへ接続する方  
〔Bフレッツやフレッツ・ADSL、ひかりone、eo光 などへ接続する方〕  
→ [フレッツ\(PPPoE\)簡単設定](#) を行って下さい。  
〔フレッツ(PPPoE)簡単設定〕は、PPPoEによるユーザー認証が必要なプロバイダへ接続するために、最低限必要な設定を行います。  
〔PPPoEセッション1へ設定を行います。他の設定は工場出荷値に戻ります。〕  
PPPoE(マルチセッションなど)の詳細設定は  
PPPoEポート 動作モード設定(WANポートの設定) から行うことができます。
- CATVなど、プロバイダからIPアドレスを自動取得(DHCP)する、または固定IPアドレスを取得(契約)している方  
→ [WANポート 動作モード設定\(WANポートの設定\)](#) を行って下さい。  
(各設定の詳細についてはユーザーズマニュアルを参照して下さい。)

左のメニューから設定・作業を行う項目をクリックして下さい。  
**設定内容を有効にするためには、必ず 設定の更新 を行って下さい。**

▼ 本体情報 ▼

- ・ニックネーム : NWG OPT100E
- ・ファームウェアバージョン : V4.9xxx.xx
- ・WANポートMACアドレス(工場出荷値) : 00-10-38-ab:cdef
- ・WANポートMACアドレス(設定値) :
- ・LANポートMACアドレス : 00-10-38-ab:cdeg
- ・システム起動経過時間 : 0:12:03.1

Copyright (C) Micro Research Ltd.

MACアドレスは、NetGenesis本体底面のシールでも確認する事ができます。  
(「WAN:」「LAN:」の後の英数字がそれぞれのMACアドレスです。)



## 5-2. SYSLOG 機能の使用法

### ●SYSLOG 機能とは？

SYSLOG 機能とは、システムで発生したイベントや情報などを、システムのメッセージとして NetGenesis に接続したパソコンに表示する機能です。

確認

本書では、SYSLOG 機能の基本的な操作のみ説明します。  
SYSLOG 機能の詳細については、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して下さい。

### 5-2-1. SYSLOG の表示

SYSLOG の表示方法について説明します。

- ①「NetGenesis の設定」画面へログインして下さい。  
※「4-1. 設定画面へのログイン」(18 ページ) を参照して下さい。
- ②メニューより「SYSLOG 表示」の文字をクリックして下さい。  
「SYSLOG 表示」画面が表示されます。

```
---:--- LOG_INFO   NWG OPT   Y4.9xx Syslog start.
---:--- LOG_INFO   S03:POE:  Open start.
---:--- LOG_INFO   S03:POE:  Discovery stage start.
---:--- LOG_INFO   S03:POE:  Discovery stage opened.
---:--- LOG_INFO   S03:POE:  Session stage start.
---:--- LOG_INFO   S03:PPP:  Open start.
---:--- LOG_INFO   S03:PPP:  LCP UP.
---:--- LOG_INFO   S03:PPP:  LCP UP.
---:--- LOG_INFO   S03:PPP:  CHAP UP.
---:--- LOG_INFO   S03:PPP:  IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx.xxx, Peer IP=yyy.yy.yyy.yyy
---:--- LOG_INFO   S03:PPP:  PriDNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222
---:--- LOG_INFO   S03:POE:  Session stage opened.
---:--- LOG_INFO   S03:      : Connect successfully.(---:---)
```

SYSLOG はリアルタイムでは表示されません。  
以降の SYSLOG を表示する場合は、このボタンをクリックして下さい。

確認

「NetGenesis の設定」画面で SYSLOG を表示させる場合は、SYSLOG の設定は特に必要ありません。  
(工場出荷値では、メッセージタイプ「LOG.INFO」のみ表示させる設定になっています。)  
ただし、出力するメッセージタイプを変更する場合や、パソコン等で SYSLOG を受信(記録)する場合は、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して設定を行って下さい。

「SYSLOG 表示」画面には、メニューの「SYSLOG 表示」の文字をクリックした時点までの SYSLOG が表示されます。  
(リアルタイムでは表示されません。)  
以降の SYSLOG を見る場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックして下さい。

SYSLOG の「時間」を表示させる場合は、NetGenesis の「時刻設定」が必要になります。  
「時刻設定」の方法については、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を参照して下さい。(「時刻設定」がされていない場合、「---:---」と表示されます。)

「NetGenesis の設定」画面で表示可能な SYSLOG の行数は 100 行です。  
SYSLOG が 100 行に達すると、新たな SYSLOG を表示するたび、古いものから消去されていきます。  
101 行以上の SYSLOG を表示したい場合は、他の SYSLOG ソフトウェア等を使用して下さい。

SYSLOG は NetGenesis の電源入れ直しや、再起動を行うと消去されます。

「NetGenesis の設定」画面では SYSLOG をファイルとして保存することはできません。  
SYSLOG をファイルとして保存したい場合は、他の SYSLOG ソフトウェア等を使用して下さい。

## 5-2-2.SYSLOG表示例

### ● PPPoE 接続成功例

```
NWG OPT V4.9xx NetGenesis のファームウェアバージョン
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start. 接続を開始した。
S03:POE: Discovery stage opened.
S03:POE: Session stage start.
S03:PPP: Open start.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: LCP UP. ISPとのユーザー認証(ユーザー名、パスワードの確認)が正しく完了した。
S03:PPP: CHAP UP. (ISPの認証方式によっては、「PAP UP」と表示される場合があります。)
S03:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx.xxx, Peer ISPから取得したIPアドレス
S03:PPP: PridNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222
S03:POE: Session stage opened.
S03: : Connect successfully.(--:--:--) ISPとの接続が完了した。
                                         (インターネットへ接続可能)
```

### ● PPPoE 接続失敗例

```
NWG OPT V4.9xx NetGenesis のファームウェアバージョン
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start. 接続を開始した。
S03:POE: Discovery stage opened.
S03:POE: Session stage start.
S03:PPP: Open start.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: CHAP DOWN. ISPとのユーザー認証(ユーザー名、パスワードの確認)に失敗した。
S03:PPP: LCP DOWN. (ISPの認証方式によっては、「PAP DOWN」と表示される場合があります。)
S03:POE: Session stage closed.
S03:POE: Closed(Closed session stage).
S03: : Disconnect successfully, duration 00:00:02.(--:--:--)
```

ISPとの接続に失敗した。

SYSLOGに「CHAP DOWN」または「PAP DOWN」と表示された場合、設定したユーザー名やパスワードに誤りがあります。ユーザー名、パスワードを確認して下さい。

#### ◆ユーザー名、パスワードを確認、修正する場合

ユーザー名、パスワードを確認(修正)する場合は、「PPPoEクライアント設定」画面を開いて設定を行って下さい。(「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うと既存の設定は初期化されてしまいます。)

【PPPoE動作クライアント設定画面を開く手順】

- ①設定画面へログオンする。
- ②[WANポートの設定]をクリックする。
- ③[PPPoEポート 動作モード設定]をクリックする。
- ④[セッション1 詳細設定]ボタンをクリックする。



### 5-3. PPPoE マルチセッション設定例

PPPoE マルチセッション機能の設定方法について、ISP 接続とNTT 東日本 / 西日本 フレッツ・スクウェアへの同時接続を例に説明します。

確認	NetGenesis は 2 箇所への PPPoE 同時接続が可能です。
	PPPoE マルチセッション機能の詳細については、添付の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を WWW ブラウザで参照して下さい。
	本設定例は「PPPoE ポート 1 の設定は完了している」ことを前提として説明しています。 本設定を行う前に PPPoE ポート 1 の設定を完了させて下さい。
	PPPoE ポート 1 の設定については「4-2-1. フレッツ (PPPoE) 簡単設定」(20 ページ) を参照して下さい。 PPPoE ポート 2 に設定可能な動作モードは「IP アドレス自動取得」のみです。 「IP アドレス固定 (1 ~ 16 個)」設定や「アンナンバード」設定はできません。

#### 5-3-1. PPPoE ポート 2 (セッション 2) の設定

以下の手順で PPPoE ポート 2 (セッション 2) にフレッツスクウェアに接続するための設定を行って下さい。

確認	以降で省略されている設定箇所については、工場出荷値のままご利用下さい。 省略されている設定箇所の詳細については、添付の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) を WWW ブラウザで参照して下さい。
----	--

- ①「NetGenesis の設定」画面へログオンして下さい。  
※「4-1. 設定画面へのログオン」(18 ページ) を参照して下さい。
- ②[WAN ポートの設定] をクリックし、「PPPoE ポート 動作モード設定」をクリックして下さい。

はじめに本製品をご利用になる

■ PPPoE によるユーザー認証が必須  
〔Bフレッツやフレッツ・ADSL、ひかりone、e...  
→ [フレッツ \(PPPoE\) 簡単設定](#) を行

[フレッツ (PPPoE) 簡単設定] は、PP...  
へ接続するために、最低限必要な設...  
(PPPoE セッション 1 へ設定を行います)

PPPoE (マルチセッションなど) の詳細  
[PPPoE ポート 動作モード設定](#) (WAN ポ...

- ③「PPPoE ポート 2 (セッション 2) を使用する」にチェックを入れ、[セッション 2 詳細設定] ボタンをクリックして下さい。

PPPoE ポート 動作モード設定

WAN ポートを PPPoE クライアントとして使用する場合は、動作モードの設定 (選択) を行います。

使用する PPPoE ポート (セッション) 番号 にチェックを入れ、[セッション 1 ~ 2 詳細設定] を行った後、[PPPoE ポート 動作モード適用] ボタンをクリックして下さい。

PPPoE ポート 動作モード適用

PPPoE ポート 1 (セッション 1) を使用する

IP アドレス自動取得 (※) [IP マスカレード変換有効]

IP アドレス固定 (1 ~ 16 個) [NAT / IP マスカレード変換有効] [セッション 1 詳細設定](#)

アンナンバード (unnumbered) [IP アドレス変換無効]

※「フレッツ (PPPoE) 簡単設定」を行った場合、PPPoE ポート 1 (セッション 1) の「IP アドレス自動取得」に設定されます。

PPPoE ポート 2 (セッション 2) を使用する **チェックを入れる**

IP アドレス自動取得 [IP マスカレード変換有効] [セッション 2 詳細設定](#) **クリック**

「セッション 1 ~ 2 詳細設定」が完了した後、下のボタンをクリックして下さい。

PPPoE ポート 動作モード適用

- ④「PPPoEクライアント設定 -PPPoE ポート2(セッション2) -」画面が開きます。

**PPPoEクライアント設定**

- PPPoE ポート2(セッション2) -

[ IPアドレス自動取得 / IPアドレス変換有効 ]  
**UPnP機能は本ポートでは使用できません。**

本画面の設定が完了した後  
 (本画面下の[設定]ボタンをクリックした後)  
**PPPoEポート 動作モード設定** へ戻り、  
**[PPPoEポート 動作モード適用]ボタンをクリックして下さい。**

**ニックネーム(接続名称)の設定**

ニックネーム(接続名称)  (半角英数字のみ入力可能)

**接続情報(アカウント)の設定**

- ⑤「ニックネーム(接続名称)の設定」に「Flets Square」など接続先が判別しやすい名称を設定して下さい。  
 (半角英数字のみ、最大31文字まで設定可能です。)

**ニックネーム(接続名称)の設定**

ニックネーム(接続名称)  (半角英数字のみ入力可能)

- ⑥「接続情報(アカウント)の設定」に以下を設定して下さい。

**接続情報(アカウント)の設定**

ユーザー名  **[必須]**

パスワード  **[必須]**

パスワード再入力  **[必須]**

**オプション設定**

接続先サーバー名

サービス名

《 特に指定が無い場合は必ず空欄にして下さい。 》

	NTT 東日本	NTT 西日本
ユーザー名	guest@flets	flets@flets
パスワード パスワード再入力	guest	flets

<b>確認</b>	<p>「接続先サーバー名」、「サービス名」は必ず空欄にして下さい。</p> <p>上記は平成22年3月の情報です。                  将来、変更される場合もありますので、NTTのホームページから最新情報を入手して下さい。</p>
-----------	--

<次ページへ進んで下さい。>

⑦回線接続方法の設定を行って下さい。

回線接続方法の設定	
<input checked="" type="radio"/>	常時接続
<input type="radio"/>	自動接続
<input type="radio"/>	手動接続
無通信自動切断の設定	
<input type="checkbox"/> 無通信自動切断機能を使用する	
送信無通信時間 【時間:分:秒】	00:10:00
受信無通信時間 【時間:分:秒】	00:10:00
〈工場出荷値:00:10:00 / 設定可能範囲:00:00:10~100:00:00・10秒間隔〉	

常時接続:常に接続状態となります。

自動接続:接続要求を検出すると自動的に接続します。

手動接続:手動接続を行わない限り接続しません。

上記で「自動接続」もしくは「手動接続」を選択した場合、無通信自動切断の設定を行うことが可能です。

無通信自動切断機能を使用する:以下で設定する時間内に通信が無かった場合、自動的に回線を切断します。

送信無通信時間:設定した時間内に送信が無い場合、自動的に回線を切断します。

受信無通信時間:設定した時間内に受信が無い場合、自動的に回線を切断します。

確認

「自動接続」及び「手動接続」を選択して、「無通信自動切断機能を使用しない」(チェックを入れない)場合は「手動切断」を行わない限り、NetGenesisは回線の切断を行いません。

⑧DNS設定は工場出荷値\*でご利用下さい。

※「WAN側から取得したDNS情報を優先する」:チェック有り

「AutoDNS機能を使用する」:チェック有り

プライマリDNS ~フォースDNS:空欄

DNS情報の設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	WAN側から取得したDNS情報を優先する
<input checked="" type="checkbox"/>	AutoDNS機能を使用する
《LAN側DNSのIPアドレスを設定する場合、「その他の設定・DNS設定」に設定して下さい。》	
プライマリDNS	<input type="text"/>
セカンダリDNS	<input type="text"/>
サードDNS	<input type="text"/>
フォースDNS	<input type="text"/>
■「回線接続方法の設定」で「自動接続」を選択し、かつ、プロバイダからDNS情報の指定が無い(プライマリ~フォースDNSが空欄)場合、「AutoDNS機能を使用する」にチェックを入れて下さい。	

<次ページへ進んで下さい。>



⑨全ての設定が完了しましたら、[設定]ボタンをクリックして下さい。

**PPTP変換の設定**  
 PPTP変換を有効にする

**DNS情報の設定**  
 WAN側から取得したDNS情報を優先する  
 AutoDNS機能を使用する  
 《LAN側DNSのIPアドレスを設定する場合、「その他の設定・DNS設定」に設定して下さい。》

プライマリDNS   
 セカンダリDNS   
 サードDNS   
 フォースDNS

■「回線接続方法の設定」で「自動接続」を選択し、かつ、プロバイダからDNS情報の指定が無い(プライマリ~フォースDNSが空欄)場合、「AutoDNS機能を使用する」にチェックを入れて下さい。

下の[設定]ボタンをクリックしても、WANポートの動作モードは変更されません。  
 動作モードを変更する場合は、[PPPoEポート動作モード設定]ボタンをクリックして下さい。  
 [PPPoEポート動作モード適用]ボタンをクリックして下さい。

**設定** **元に戻す**

すべての設定が完了したらクリックして下さい。

⑩「PPPoEクライアント設定 -PPPoE ポート2(セッション2) -」画面の先頭に戻りますので「PPPoEポート 動作モード設定」の文字をクリックして下さい。

**PPPoEクライアント設定**  
 - PPPoE ポート2(セッション2) -  
 [ IPアドレス自動取得 / IPアドレス変換有効 ]  
 UPnP機能は本ポートでは使用できません。

本画面の設定が完了した後  
 (本画面下の「設定」ボタンをクリックした時)  
**PPPoEポート 動作モード設定** クリック  
 [PPPoEポート 動作モード適用]ボタンをクリックして下さい。

**ニックネーム(接続名称)の設定**

⑪「PPPoEポート 動作モード設定」画面に戻りますので、[PPPoEポート 動作モード適用]ボタンをクリックして下さい。

**PPPoEポート 動作モード設定**

WANポートをPPPoEクライアントとして使用する場合の、動作モードの設定(選択)を行います。

使用する PPPoE ポート(セッション)番号 にチェックを入れ、[セッション1~2 詳細設定] を行った後、[PPPoEポート 動作モード適用] ボタンをクリックして下さい。

**PPPoEポート 動作モード適用** クリック

PPPoE ポート1(セッション1) を使用する

**確認** 必ず [PPPoEポート 動作モード適用] ボタンをクリックして下さい。  
 [PPPoEポート 動作モード適用] ボタンをクリックしないで設定を更新した場合、PPPoEポート2は動作しませんので注意して下さい。

以上で「PPPoEポート2の設定」は完了です。  
 「5-3-2. スタティックルーティングの設定」(次ページ)へ進んで下さい。

## 5-3-2. スタティックルーティングの設定

確認

本書で説明する設定例では、送信先IP(ネットワーク)アドレスによるPPPoEポート2へのルーティング(スタティックルーティング)を行います。送信元IP(ネットワーク)アドレスによるルーティング(ソースルーティング)も可能です。ソースルーティング設定については、添付のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル(manual.htm ファイル)をWWWブラウザで参照して下さい。

下の手順でスタティックルーティングの設定を行って下さい。

①[ルーティングの設定]をクリックし、「スタティックルーティング設定」をクリックして下さい。

スタティックルーティング設定

各ポートのスタティック(静的)ルーティング情報の設定を行います。

PPPoEマルチセッション機能使用時の例

- PPPoE ポート1(セッション1) プロバイダ接続
  - ・デフォルトゲートウェイに設定する: ON (チェックあり)
  - ・ルーティングテーブル : 登録不要
- PPPoE ポート2(セッション2) フレッツ・スクウェア接続
  - ・デフォルトゲートウェイに設定する: OFF (チェックなし)
  - ・ルーティングテーブル : フレッツ・スクウェアのネットワーク情報を登録

PPPoE1 PPPoE2 WAN LAN

PPPoE ポート1 (セッション1)

PPPoE ポート1 (セッション1)をデフォルトゲートウェイに設定する

メトリック 1

②「PPPoE ポート2(セッション2)」欄の[編集]ボタンをクリックして下さい。

PPPoE1 PPPoE2 WAN LAN

PPPoE ポート2 (セッション2)

PPPoE ポート2 (セッション2)をデフォルトゲートウェイに設定する

メトリック 1

ルーティングテーブル 登録リスト

(16個まで登録可能です。上から優先順位の高い順番になります。)

IPアドレス/サブネット	メトリック

編集

確認

「PPPoE ポート2(セッション2)をデフォルトゲートウェイに設定する」のチェックは入れないで下さい。

<次ページへ進んで下さい。>

③以下のテーブルを追加して下さい。

NTT 東日本		NTT 西日本	
IPアドレス / サブネット	メトリック	IPアドレス / サブネット	メトリック
220.210.194.0/25	1	10.0.0.0/8	1
220.210.198.0/26	1	-	-
220.210.199.144/28	1	-	-

**確認** NTT 東日本でお使いの方は、3個のテーブル全てを追加して下さい。  
 上記ルーティング(経路)情報は平成22年3月の情報です。  
 将来、変更される場合もありますので、NTTのホームページから最新情報を入手して下さい。

◆ルーティングテーブルの追加方法

「IPアドレス/サブネットを入力して、メトリックを選択します。追加ボタンをクリックすると登録リストに追加されます。」

次のテーブルを追加する場合は下の[編集]ボタンをクリックします。

④ルーティングテーブルの追加が完了しましたら、「スタティックルーティング設定」画面を一番下までスクロールして[設定]ボタンをクリックして下さい。

⑤設定の更新を行って下さい。  
 ※設定の更新方法については「4-3. 設定の更新」(27ページ)を参照下さい。

以上でスタティックルーティングの設定は完了です。

### 5-3-3. PPPoE ポートの制御

PPPoE ポートの制御について説明します。

回線接続方法で「自動接続」もしくは「手動接続」を選択した場合、PPPoE ポートの制御を行うことができます。

- ①「NetGenesis の設定」画面へログオンして下さい。  
※「4-1. 設定画面へのログオン」(18ページ)を参照して下さい。
- ②「PPPoE ポート情報・制御」をクリックして下さい。  
「PPPoE ポート情報・制御」画面が開きます。

#### ●未接続時

PPPoE ポート2 (セッション2・S04)		接続
ニックネーム(接続名称)	: Flets Square	
接続モード(回線接続方法)	: 手動接続	
状態	: <b>切断状態</b>	
接続時間	:	
取得した自IPアドレス	:	
取得した相手IPアドレス	:	
取得したプライマリDNS	:	
取得したセカンダリDNS	:	

[接続]ボタンが表示されます。  
[接続]ボタンをクリックすると回線が接続されます。  
接続が完了すると、接続時の画面になります。

#### ●接続時

PPPoE ポート2 (セッション2・S04)		切断
ニックネーム(接続名称)	: Flets Square	
接続モード(回線接続方法)	: 手動接続	
状態	: <b>接続状態</b>	
接続時間	: 0:10:00	
取得した自IPアドレス	: xxx.xxx.xxx.111	
取得した相手IPアドレス	: xxx.xxx.xxx.150	
取得したプライマリDNS	: xxx.xxx.xxx.151	
取得したセカンダリDNS	: xxx.xxx.xxx.152	

[切断]ボタンが表示されます。  
[切断]ボタンをクリックすると回線が切断されます。  
切断が完了すると、未接続時の画面に戻ります。

**確認**

「回線接続方法の設定」(33ページ)で「常時接続」を選択した場合は、「接続」「切断」ボタンは表示されません。

## 5-4. ISP から自動取得したIPアドレスの確認方法

NetGenesis がISP から自動取得したIPアドレスの確認方法について説明します。

- ①「NetGenesis の設定」画面へログインして下さい。  
※「4-1. 設定画面へのログイン」(18 ページ)を参照して下さい。
- ②メニューより以下の文字をクリックして下さい。
  - 「PPPoE クライアント機能」を使用している場合(「フレッツ(PPPoE) 簡単設定」を行った場合)  
→「PPPoE ポート情報・制御」をクリックして下さい。  
ISP から自動取得したIPアドレスは「取得した自IPアドレス」欄に表示されます。

最新の情報に更新	
<b>PPPoE ポート1 (セッション1・S03)</b>	
ニックネーム(接続名称)	: PPPoE1 connection
接続モード(回線接続方法)	: 常時接続
状態	: <b>接続状態</b>
接続時間	: 0:10:00
取得した自IPアドレス	: <b>xxxxxxxx123/24</b>
取得した相手IPアドレス	: xxxxxxxx250
取得したプライマリDNS	: xxxxxxxx251
取得したセカンダリDNS	: xxxxxxxx252

- 「DHCP クライアント機能」を使用している場合  
→「WAN ポート情報」をクリックして下さい。  
ISP から自動取得したIPアドレスは「IP アドレス / サブネット」欄に表示されます。

DHCPクライアント情報	
DHCPクライアント : [使用]	
MACアドレス : 00:10:38:ab:cd:ef	
IPアドレス/サブネット	: <b>xxxxxxxx123/24</b>
デフォルトゲートウェイ	: xxxxxxxx250
プライマリDNS	: xxxxxxxx251
セカンダリDNS	: xxxxxxxx252
サードDNS	: 0.0.0.0
フォースDNS	: 0.0.0.0
ドメイン名 :	
リース期限(時間:分:秒)	: 12:00:0
残り時間(時間:分:秒)	: 11:00:0
<input type="button" value="IP 解放"/> <input type="button" value="IP 取得"/>	
<input type="button" value="最新の情報に更新"/>	
・ [IP 解放] と [IP 取得] は、DHCPクライアント使用時のみ操作できます。 ・ IPアドレス固定設定時は、WANポートに設定した情報が表示されます。	

確認

「IP 開放」、「IP 取得」ボタンは、「DHCP クライアント機能」使用時のみ操作可能です。

## 5-5. IPv6ブリッジ機能の設定方法

フレッツ・スクウェア v6 等、IPv6 サービスを利用するために必要な、IPv6ブリッジ機能の設定について説明します。  
本設定を行うことにより、LAN - WAN 間でIPv6 パケットをブリッジすることが可能になります。

確認

IPv6 フレームは NetGenesis のルータ処理を介さずに転送されます。  
IPv6 フレームに対するセキュリティ対策は、端末側で行って下さい。

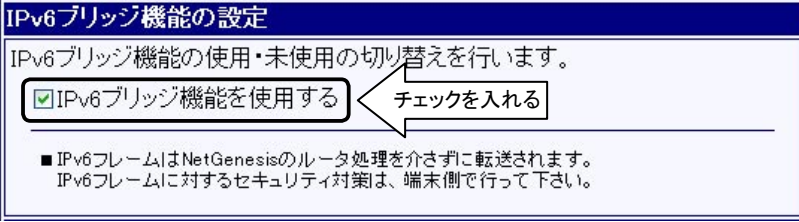
- ①「NetGenesis の設定」画面へログインして下さい。  
※「4-1. 設定画面へのログイン」(18 ページ)を参照して下さい。
- ②メニューより「基本設定」の文字をクリックして下さい。



はじめて本製品をご利用になる方へ

- PPPoEによるユーザー認証が必要な  
〔Bフレッツやフレッツ・ADSL、ひかりone、eo光 など〕  
→ [フレッツ\(PPPoE\)簡単設定](#) を行って  
〔フレッツ(PPPoE)簡単設定〕は、PPPoEに  
接続するために、最低限必要な設定を行います。  
(PPPoEセッション1へ設定を行います。他の

- ②「基本設定」画面が開きますので「IPv6ブリッジ機能を使用する」にチェックを入れて下さい。



IPv6ブリッジ機能の設定

IPv6ブリッジ機能の使用・未使用の切り替えを行います。

IPv6ブリッジ機能を使用する ← チェックを入れる

- IPv6フレームは NetGenesis のルータ処理を介さずに転送されます。  
IPv6フレームに対するセキュリティ対策は、端末側で行って下さい。

- ③「基本設定」画面を下までスクロールして「設定」ボタンをクリックして下さい。
- ④設定の更新を行って下さい。  
※設定の更新方法については「4-3. 設定の更新」(27 ページ)を参照下さい。

以上でIPv6ブリッジ機能の設定は完了です。

## 5-6 困ったときは(Q&A)

本書で解説している設定方法を行う上で、「設定できない」、「つながらない」等トラブルが発生した場合の対処法や確認事項です。サポートセンターへお問い合わせになる前に、一度お読み下さい。



CD-ROMに収録されている、ユーザーズマニュアル(manual.htm ファイル)には、より詳細なQ&Aが記載されています。そちらも参照して下さい。

Q. 設定画面へログオンできない。.....	41
Q. 設定したパスワードの文字数が増えて(減って)いる。.....	41
Q. NetGenesis の設定画面を起動すると、既存の設定内容が違っている。.....	41
Q. インターネットに接続できない。 (「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行った場合).....	42
Q. インターネットに接続できない。 (WANポートの設定でDHCPクライアント機能を使用している場合).....	43
Q. インターネットに接続できない。 (WANポートの設定でIPアドレスを指定している場合).....	43
Q. PPPoE ポート2が接続できない。.....	44
Q. 2台目以降のパソコンではどのような設定をしたらよいか?.....	45
Q. インターネットに接続できるが、速度が遅い。.....	45
Q. 一部ホームページが表示できない。(PPPoE 接続時).....	45
Q. 回線終端装置やNetGenesisの電源を入れ直したらインターネットに接続できなくなった。...	45
Q. NTT 東日本 / 西日本のVoIPアダプターを使用するために必要な設定は?.....	46
Q. Windows Live Messenger やMSN Messenger の一部機能が動作しない。.....	46
Q. ポートを開けたい。.....	46
Q. フレッツ・スクウェア v6 等、IPv6 サービスを利用したい。.....	46
Q. ファームウェアのバージョンを知りたい。.....	46
Q. NetGenesis の MAC アドレスを知りたい.....	46
Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい。.....	46



## Q. 設定画面へログオンできない。

- NetGenesis の電源は ON になっていますか？
- パソコンの電源を入れる前に、NetGenesis の電源を入れましたか？  
NetGenesis の電源を入れてから、パソコンを再起動して下さい。
- NetGenesis とパソコンがツイストペアケーブルで正しく接続されていますか？  
NetGenesis 前面の L1 ～ L4 ランプが点灯しているか確認して下さい。
- HUB を経由してパソコンを接続している場合、NetGenesis と HUB が正しく接続されていますか？  
NetGenesis 前面の L1 ～ L4 ランプが点灯しているか確認して下さい。
- パソコンにイーサネットボードが正しくセットアップされていますか？  
イーサネットボードのマニュアル等を参照して下さい。
- パソコンの TCP/IP プロトコルは正しく設定されていますか？  
「3. パソコンの設定」(11 ページ)を参照して下さい。
- パソコンに PPPoE ソフトウェア (フレッツ接続ツール等) がインストールされていませんか？  
PPPoE ソフトウェアのマニュアルやヘルプ等を参照して PPPoE ソフトウェアをアンインストールして下さい。
- NetGenesis の IP アドレスを変更していませんか？  
NetGenesis をリセットして、再度試して下さい。  
リセット方法については「Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい」(46 ページ)を参照して下さい。
- セキュリティソフトウェアを起動していませんか？  
例) シマンテック「ノートン・インターネットセキュリティ」シリーズ  
トレンドマイクロ「ウィルスバスター」シリーズ 等々  
セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能が、パソコンと NetGenesis の通信を遮断してしまう場合があります。  
NetGenesis の設定を行う際は、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を停止して下さい。  
ファイアウォール機能を停止してもユーザー認証画面が表示されない場合は、セキュリティソフトウェアを終了させて下さい。
- Windows で Internet Explorer を使用している場合は、以下の手順で設定を初期化して下さい。
  - ① Internet Explorer の [ツール] メニューから [インターネットオプション] をクリックして下さい。
  - ② [セキュリティ] タブをクリックして下さい。
  - ③ 「インターネット」をクリックし、「このゾーンのセキュリティのレベル」欄の [既定値のレベル] ボタンをクリックして下さい。
  - ④ 「接続」タブをクリックし、[LAN の設定] ボタンをクリックして下さい。
  - ⑤ 「設定を自動的に検出する」、「LAN にプロキシサーバーを使用する」、「自動構成スクリプトを使用する」  
3つのチェックを外して [OK] ボタンをクリックして下さい。
  - ⑥ [詳細設定] タブをクリックして下さい。
  - ⑦ [既定値に戻す] ボタンをクリックして下さい。
  - ⑧ [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックして下さい。

## Q. 設定したパスワードの文字数が増えて (減って) いる。

設定画面を閉じて、再度開くとパスワードの文字数 (●や\*の数) が実際に入力した数より増えて (減って) いることがあります。特に問題はありません。  
設定画面に表示される「パスワード」及び「パスワード再入力」欄は、実際に入力したパスワードの文字数に関係なく、必ず決まった文字数で表示されます。  
表示されるパスワードの文字数は、使用している WWW ブラウザやそのバージョンによって異なります。

## Q. 「NetGenesis の設定」画面を起動すると、既存の設定内容が違っている。

NetGenesis の設定を変更した後、設定の更新を行わずに WWW ブラウザを終了してしまうと、「一時保存領域」の設定情報と、「フラッシュ ROM」の設定情報が異なる状態が発生してしまいます。  
(「NetGenesis の設定」画面は起動時に、「一時保存領域」に保存された設定情報を読み込みます。)  
もし、このような状態になってしまった場合は、NetGenesis の設定画面のメニューから「NetGenesis の再起動」をクリックし、NetGenesis を再起動して一時保存領域の内容を消去して下さい。

- 一時保存領域  
→ 「NetGenesis の設定」画面で、[設定] ボタンをクリックした場合や、[フレッツ (PPPoE) 簡単設定] の警告画面で [はい] ボタンをクリックした場合に設定内容が一時的に保存される領域です。  
NetGenesis の電源を OFF/ON すると消去されます。
- フラッシュ ROM  
→ NetGenesis が実際に動作する設定が保存されている領域です。  
「設定の更新」画面の [更新] ボタンをクリックすることにより、「一時保存領域」の設定内容を「フラッシュ ROM」に書き込みます。  
NetGenesis の電源を OFF/ON しても消去されません。



## Q. インターネットに接続できない。

### 〔フレッツ(PPPoE)簡単設定〕を行った場合〕

「5-2. SYSLOG機能の使用法」(29ページ)を参照して、SYSLOGを表示してISPとの接続が完了しているか確認して下さい。

#### ●「Connect successfully」と表示される場合

```
NWG OPT V4.9xx Syslog start.
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start.
S03:POE: Discovery stage opened.
S03:POE: Session stage start.
S03:PPP: Open start.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: CHAP UP.
S03:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx.xxx, Peer IP=yyy.yy.yyy.yyy
S03:PPP: PriDNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222
S03:POE: Session stage opened.
S03: : Connect successfully.(--:--:--)
```

ISPとの回線接続は完了しています。

パソコンのIPアドレスやDNSサーバー(ネームサーバー)アドレスが正しく設定されているか確認して下さい。

→「3. パソコンの設定」(11ページ)を参照して下さい。

#### ●「Open start.」→「Discovery stage start.」→「Disconnect successfully.」を繰り返す場合

```
NWG OPT V4.9xx Syslog start.
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start.
S03: : Disconnect successfully, duration 00:00:31.(--:--:--)
```

・回線終端装置とNetGenesis(WANポート)の接続を確認して下さい。

→「2-3. 各機器との接続」(7ページ)を参照して下さい。

・回線終端装置、またはNetGenesisの電源を落とした場合、PPPoEの切断処理が正しく行われなため、一定時間再接続できない場合があります。

→再接続が可能になるまで、一定時間(5分以上)お待ち下さい。

※再接続可能になるまでの時間は、回線事業者により異なります。詳しくは回線事業者にお問い合わせ下さい。

・回線側で障害が発生していませんか？

→回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)インターネットへ接続できるか確認して下さい。

(パソコンにPPPoEソフトウェア(フレッツ接続ツール等)をインストールする必要があります。)

接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

#### ●「CHAP DOWN」、または「PAP DOWN」と表示される場合

```
NWG OPT V4.9xx Syslog start.
S03:POE: Open start.
S03:POE: Discovery stage start.
S03:POE: Discovery stage opened.
S03:POE: Session stage start.
S03:PPP: Open start.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: LCP UP.
S03:PPP: CHAP DOWN.
S03:PPP: LCP DOWN.
S03:POE: Session stage closed.
S03:POE: Closed(Closed session stage).
S03: : Disconnect successfully, duration 00:00:02.(--:--:--)
```

SYSLOGに「CHAP DOWN」または「PAP DOWN」と表示された場合、ユーザー名やパスワードに誤りがあります。

ユーザー名、パスワードを確認して下さい。

#### ◆ユーザー名、パスワードを確認、修正する場合

ユーザー名、パスワードを確認(修正)する場合は、「PPPoEクライアント設定」画面を開いて設定を行って下さい。(「フレッツ(PPPoE)簡単設定」を行うと既存の設定は初期化されてしまいます。)

【PPPoEクライアント設定画面を開く手順】

①設定画面へログイン→②[WANポートの設定]をクリック→③[PPPoEポート 動作モード設定]をクリック  
→④[セッション1 詳細設定]ボタンをクリック

## Q. インターネットに接続できない。

### (WANポートの設定でDHCPクライアント機能を使用している場合)

「5-3. ISPから自動取得したIPアドレスの確認方法」(36ページ)を参照して、IPアドレスが正しく取得できているか確認して下さい。

- IPアドレスが正しく取得できている場合  
パソコンのIPアドレスやDNSサーバー(ネームサーバー)アドレスが正しく設定されているか確認して下さい。  
→「3. パソコンの設定」(11ページ)を参照して下さい。
- IPアドレスが正しく取得できていない場合
  - 回線終端装置とNetGenesis(WANポート)の接続を確認して下さい。  
→「2-3. 各機器との接続」(7ページ)を参照して下さい。
  - NetGenesisにパソコンを接続する前に、パソコンのIPアドレスの解放を行いましたか？  
→「2-2. 設置前に確認すること」(4ページ)を参照して下さい。
  - 回線終端装置の電源を落として、記憶されているMACアドレス(物理アドレス)を消去して下さい。  
→回線終端装置の中には、接続されたネットワーク機器(LANカードやルータ)のMACアドレスを記憶してそのアドレス以外とは通信しない機種があります。  
回線終端装置の電源を30分～1時間程度落として放置してから、再度接続してみてください。
  - ホスト名(コンピューター名)の入力が必要なISPへ接続する場合、正しく入力されていますか？  
→「4-2-2. DHCPクライアント機能を使う(CATV、Yahoo!BB等)」(22ページ)を参照して下さい。
  - ISPに接続するネットワーク機器のMACアドレス(物理アドレス)の登録が必要な場合 NetGenesisのWANポートのMACアドレスをISPに登録して下さい。  
→「5-1. ファームウェアバージョン情報とMACアドレスの確認方法」(28ページ)を参照して下さい。
  - 回線側で障害が発生していませんか？  
→回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)インターネットへ接続できるか確認して下さい。  
接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

## Q. インターネットに接続できない。

### (WANポートの設定でIPアドレスを指定している場合)

- パソコンのIPアドレスやDNSサーバー(ネームサーバー)アドレスが正しく設定されているか確認して下さい。  
→「3. パソコンの設定」(11ページ)を参照して下さい。
- NetGenesisのWANポートに、ネットワークアドレスまたはIPアドレスが正しく設定されているか確認して下さい。  
→「4-2-3. IPアドレスを指定する(CATV、IPアドレス指定のISP等)」(24ページ)を参照して下さい。
- 回線終端装置とNetGenesis(WANポート)の接続を確認して下さい。  
→「2-3. 各機器との接続」(7ページ)を参照して下さい。
- 回線終端装置の電源を落として、記憶されているMACアドレス(物理アドレス)を消去して下さい。  
→回線終端装置の中には、接続されたネットワーク機器(LANカードやルーター)のMACアドレスを記憶してそのアドレス以外とは通信しない機種があります。  
回線終端装置の電源を30分～1時間程度落として放置してから、再度接続してみてください。
- 回線側で障害が発生していませんか？  
→回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)インターネットへ接続できるか確認して下さい。  
接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

## Q.PPPoEポート2が接続できない。

「5-2. SYSLOG機能の使用方式」(29ページ)を参照して、SYSLOGを表示してPPPoEポート2(S04ポート)の接続が完了しているか確認して下さい。

(手動接続の場合は、「PPPoE情報・制御」画面で[接続]ボタンを押してから確認して下さい。)

### ●SYSLOGにPPPoEポート2(S04ポート)に関するログが一切表示されない場合

「PPPoEポート2(セッション2)を使用する」チェックを入れ忘れていませんか？

→本チェックが外れている場合、PPPoEポート2(セッション2)は動作しません。

詳しくは「5-3-1. PPPoEポート2(セッション2)の設定」(31ページ)を参照して下さい。

PPPoEポート2の設定完了後、[PPPoEポート動作モード適用]ボタンをクリックしましたか？

→[PPPoEポート動作モード適用]ボタンをクリックしないとPPPoEポートが有効になりません。

詳しくは「5-3-1. PPPoEポート2(セッション2)の設定」(31ページ)を参照して下さい。

### ●SYSLOGに「CONNECT REQ」が表示されない場合(自動接続の場合)

・パソコンのTCP/IPプロトコル(DNSサーバーの設定)は正しく設定されていますか？

→「3. パソコンの設定」(11ページ)を参照して下さい。

・「PPPoEクライアント設定」の「DNS情報」欄の「AutoDNS機能を使用する」にチェックが入っていますか？

→「AutoDNS機能を使用する」のチェックが外れている場合、NetGenesisは自動接続しません。

詳しくは「5-3-1. PPPoEポート2(セッション2)の設定」(31ページ)を参照して下さい。

### ●「Connect successfully」と表示される場合

```
S04:POE: Open start.
S04:POE: Discovery stage start.
S04:POE: Discovery stage opened.
S04:POE: Session stage start.
S04:PPP: Open start.
S04:PPP: LCP UP.
S04:PPP: CHAP UP.
S04:PPP: IPCP UP. My IP=xxx.xxx.xxx.xxx.xxx, Peer IP=yyy.yy.yyy.yyy
S04:PPP: PriDNS=111.111.111.111, SecDNS=222.222.222.222
S04:POE: Session stage opened.
S04:   : Connect successfully.(--:--:--)
```

回線接続は完了しています。

・パソコンのTCP/IPプロトコル(DNSサーバーの設定)は正しく設定されていますか？

→「3. パソコンの設定」(11ページ)を参照して下さい。

・スタティックルーティングの設定が正しくされているか確認して下さい。

→「5-3-2. スタティックルーティングの設定」(35ページ)を参照して下さい。

### ●「Open start.」→「Discovery stage start.」→「Disconnect successfully.」を繰り返す場合

```
S04:POE: Open start.
S04:POE: Discovery stage start.
S04:   : Disconnect successfully, duration 00:00:31.(--:--:--)
```

・回線側で障害が発生していませんか？

→回線終端装置とパソコンを直接接続して(NetGenesisを介さない状態にして)接続できるか確認して下さい。

(パソコンにPPPoEソフトウェア(フレッツ接続ツール等)をインストールする必要があります。)

接続できない場合は、回線事業者またはISPへお問い合わせ下さい。

・「接続先サーバー名」、「サービス名」に不要な設定をしていませんか？

→「PPPoEクライアントの設定」で「接続先サーバー名」、「サービス名」に不要な文字を入力した場合は空欄にしてみてください。

詳しくは「5-3-1. PPPoEポート2(セッション2)の設定」(31ページ)を参照して下さい。

### ●SYSLOGに「CHAP DOWN」、または「PAP DOWN」と表示される場合

```
S04:POE: Open start.
S04:POE: Discovery stage start.
S04:POE: Discovery stage opened.
S04:POE: Session stage start.
S04:PPP: Open start.
S04:PPP: LCP UP.
S04:PPP: CHAP DOWN.
S04:PPP: LCP DOWN.
```

SYSLOGに「CHAP DOWN」または「PAP DOWN」と表示された場合、ユーザー名やパスワードに誤りがあります。

ユーザー名、パスワードを確認して下さい。

詳しくは「5-3-1. PPPoEポート2(セッション2)の設定」(31ページ)を参照して下さい。

## Q. 2台目以降のパソコンではどのような設定をしたらよいか？

NetGenesis の設定 (WAN ポートの設定) は、一度行えば NetGenesis 内部のフラッシュ ROM に設定が書き込まれますので、2台目以降のパソコンから設定を行う必要はありません。

2台目以降のパソコンでは、「3. パソコンの設定」(11 ページ)のみ行えば、インターネットへ接続することができます。

## Q. インターネットに接続できるが、通信速度が遅い。

以下の項目を確認して下さい。

- 回線終端装置の速度 (接続) 設定を変更していませんか？  
回線終端装置 (ONU、メディアコンバーター等) の中には、ディップスイッチ等で速度設定を変更できる機種があります。速度設定を Auto モード (オートネゴシエーション有効) 以外に設定すると、通信速度が低下することがあります。回線終端装置の速度設定は必ず Auto モードにして下さい。  
設定変更方法については回線終端装置のマニュアルを参照して下さい。
- パソコンに搭載されているイーサネットボードの速度 (接続) 設定を変更していませんか？  
イーサネットボードの設定で速度設定を変更している場合、通信速度が低下することがあります。  
イーサネットボードの速度設定は、Auto モード (オートネゴシエーション有効) に設定して下さい。  
設定変更方法についてはイーサネットボードのマニュアルを参照して下さい。
- セキュリティソフトウェアが稼働していませんか？  
例) シマンテック「ノートン・インターネットセキュリティ」シリーズ  
トレンドマイクロ「ウィルスバスター」シリーズ 等々  
インターネット通信を常時監視するソフトウェアが起動・常駐している場合、通信速度が低下することがあります。それらのソフトウェアを使用している場合は、ソフトウェアのマニュアル等を参照して停止 (終了) して下さい。

## Q. 一部ホームページが表示できない。(PPPoE 接続時)

以下の項目を確認して下さい。

- NTT 西日本 フレッツ光プレミアムで使用する場合、MTU 値の調整が必要です。  
NTT 西日本 フレッツ光プレミアムで使用する場合、MTU 値の工場出荷設定「1454」のまま使用すると、一部ホームページが表示できない等の現象が発生します。  
その場合は、MTU 値を「1438」以下に設定変更して下さい。  
詳しくは CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) の「MTU の設定」を参照して下さい。(MTU 値の設定方法は本書では解説していません。)
- NTT 西日本 フレッツ光プレミアム以外でご利用の場合、MTU 値を変更せずにご利用下さい。  
NTT 西日本 フレッツ光プレミアム以外でご利用の場合は、「PPPoE クライアントのオプション設定」の MTU 値を変更せずにご利用下さい。  
変更している場合は、工場出荷設定「1454」へ戻してみてください。  
詳しくは CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) の「MTU の設定」を参照して下さい。(MTU 値の設定方法は本書では解説していません。)
- 「MSS CLAMP を使用する」のチェックが外れていませんか？  
PPPoE クライアントオプション設定の「MSS CLAMP を使用する」にチェックを入れて下さい。(工場出荷値、チェック有)  
詳しくは CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) の「MTU の設定」を参照して下さい。(MSS CLAMP の設定については本書では解説していません。)

## Q. 回線終端装置もしくは NetGenesis の電源を落としたところ、電源を再投入してもインターネットへ接続できなくなった。(PPPoE 接続時)

回線終端装置、または NetGenesis の電源を落とした場合、PPPoE の切断処理が正しく行われなため、一定時間再接続できない場合があります。

再接続が可能になるまで、一定時間 (5 分以上) お待ち下さい。

※再接続可能になるまでの時間は、回線事業者により異なります。詳しくは回線事業者にお問い合わせ下さい。

### Q.NTT 東日本 / 西日本の VoIP アダプターを使用するために必要な設定は？

NetGenesis の LAN 内で、NTT 東日本 / 西日本の VoIP アダプターを使用するためには、NetGenesis の UPnP 機能を有効にする必要があります。  
UPnP 機能は工場出荷状態で有効になっています。  
(UPnP 機能は、PPPoE 接続の場合 PPPoE ポート 1 (セッション 1) のみ使用可能です。)

### Q.Windows Live Messenger や MSN Messenger の一部機能が動作しない。

「Windows ファイアウォール」等、セキュリティソフトウェアの設定によっては、Windows Live Messenger や MSN Messenger 等の UPnP ソフトウェアの通信が遮断される場合があります。  
セキュリティソフトウェアを無効にして試してみてください。

### Q. ポートを開けたい。

一般的に言う「ポートを開ける」とは、「静的 IP マスカレードテーブル設定を行う」ことを指します。  
NetGenesis で「ポートを開ける」には「IP マスカレードテーブル設定」を行う必要があります。  
IP マスカレードテーブル設定については、付属の CD-ROM に収録されているユーザーズマニュアル (manual.htm ファイル) の「10. サーバー公開を行う」を参照して下さい。(IP マスカレードテーブル設定については本書で解説していません。)

### Q. フレッツ・スクウェア v6 等、IPv6 サービスを利用したい。

NetGenesis の LAN 内で IPv6 サービスを利用するためには、IPv6 ブリッジ機能を有効にする必要があります。  
(IPv6 ブリッジ機能は工場出荷状態で無効になっています。)  
IPv6 ブリッジ機能を有効にする方法については、「5-5.IPv6 ブリッジ機能の設定方法」(39 ページ) を参照して下さい。

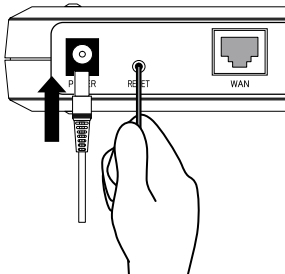
### Q. ファームウェアのバージョンを知りたい。

### Q.NetGenesis の MAC アドレスを知りたい。

NetGenesis の設定画面で確認することができます。  
詳しくは「5-1. ファームウェアバージョン情報と MAC アドレスの確認方法」(28 ページ) を参照して下さい。

### Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい。

「RESET」ボタンを先の細い棒等で押したまま電源を投入 (電源アダプターを接続) し、そのまま 10 秒以上押し続けるとすべての設定が工場出荷値に戻ります。(下図参照)



「RESET」ボタンを細い棒等で押したまま電源を投入 (電源アダプターを接続) して下さい。  
「RESET」ボタンは、電源投入後、そのまま 10 秒以上押し続けて下さい。

## 5-7. ユーザーサポートについて

### ●ユーザーサポートについて

NetGenesisに関する操作方法や技術的なお問い合わせは以下で受け付けています。

- ◆サポートセンター直通電話番号：03-3458-9031
- ◆営業時間：土・日、祝日、年末年始を除く 10:00～12:00、13:00～17:00
- ◆サポートセンター直通FAX番号：03-3458-9030

最新情報、NetGenesisのファームウェアの提供はインターネットホームページで行っています。

URL：http://www.MRL.co.jp

### ●お問い合わせ頂く際のお願い

お問い合わせ頂く際は以下の情報が必要になる場合がございますので、あらかじめご確認下さい。

- ◆お名前
- ◆ご住所
- ◆NetGenesisの製造番号(本体底面のシールに記載)
- ◆パソコンの機種名
- ◆パソコンのイーサネットボード名
- ◆使用回線
- ◆契約しているISP名称
- ◆具体的な症状(エラーメッセージ等も含め、できる限り詳細に。)
- ◆電話番号・FAX番号
- ◆NetGenesisの機種名(型番)
- ◆NetGenesisのファームウェアバージョン
- ◆パソコンのOSおよびバージョン
- ◆接続しているパソコンの台数
- ◆回線終端装置の機種名

※FAXでお問い合わせ頂く際は、次ページの「NetGenesisお問い合わせシート」をコピーしてご利用下さい。

### ●NetGenesisの修理について

NetGenesisが故障してしまった場合、以下の項目をご確認のうえ、弊社修理センターへ送付して下さい。

(修理品送付に伴う送料は、送り主負担とさせていただきます。)

- ◆修理品には必ず、使用環境、故障状況等を詳しくお書き添え下さい。
- ◆修理の際に設定内容(接続ユーザー名/パスワード、管理者ID/パスワード、LANポートIPアドレス等)の初期化を行いますので、ご送付前に必ず設定内容をお控え下さい。
- ◆代替機の貸出等はありませんのでご了承下さい。
- ◆保証期間中は無償で修理を行います。

ただし、以下の場合は保証期間中であっても有償修理となりますのでご了承下さい。

- ・保証書が同梱されていない場合。
- ・保証書の所定事項が未記入の場合。
- ・誤った操作等により発生した故障や破損の場合。
- ・落雷、火災等の事故により発生した故障や破損の場合。

※本製品を分解または改造を行った場合、一切のサポート及び修理をお断りさせていただきます。

修理品の送付先は以下の通りです。

株式会社マイクロリサーチ 修理センター

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-5 清水品川ビル1F TEL:03-3458-9021

### サポートセンター・修理センターにおける個人情報の取り扱いについて

当社は製品サポート・修理対応の過程で取得したお客様の個人情報を、サポート・修理業務および配送等の付随業務以外の目的に使用することはありません。

## NetGenesis SuperOPT100E お問い合わせシート

お名前：  
(会社名とご担当者様氏名)

電話番号：

FAX 番号：

<b>◆契約しているISP名称/機器構成</b>	
使用回線	
契約しているプロバイダ名称	
回線終端装置の機器名称	
接続しているパソコン台数	
OSとそのバージョン	
イーサネットボードの名称や型番	

<b>◆ NetGenesis SuperOPT100E のファームウェアバージョン</b> 「5-1. ファームウェアバージョン情報とMACアドレスの確認方法」(28ページ)を参照して下さい。	
ファームウェアバージョン	Ver

<b>◆ NetGenesis SuperOPT100E の製造番号 (本体底面シールに記載があります。)</b>	
製造番号	S/N:

<b>◆ NetGenesis SuperOPT100E の設定</b>  いずれか該当するものに チェックを入れて下さい。	<input type="checkbox"/> 工場出荷値(何も設定しなかった。) 「症状」、「接続図」をご記入下さい。  <input type="checkbox"/> フレッツ(PPPoE)簡単設定を行った。 「フレッツ(PPPoE)簡単設定」、「その他の設定」、「症状」、「接続図」 をご記入下さい。  <input type="checkbox"/> WANポートの設定を行った。 「WANポートの設定」、「その他の設定」、「症状」、「接続図」をご記入 下さい。
---	--

<b>◆フレッツ(PPPoE)簡単設定</b>	
ユーザー名(ユーザー ID)	
プライマリ DNS	_____ □未入力
セカンダリ DNS	_____ □未入力

<b>◆ WANポートの設定 (「4-2. WANポートの設定」(20ページ)を参照して下さい。)</b>	
WANポートの動作モード	<input type="checkbox"/> DHCPクライアント <input type="checkbox"/> IPアドレス固定(1～16個)
ホスト名(DHCPクライアントのみ)	ホスト名:( _____ )
変換IPアドレス情報 (IPアドレス固定(1～16個のみ))	変換IPアドレス個数:1・2・4・8・16 LAN側変換後の先頭IPアドレス:_____
「WAN側から取得したDNS情報を優先する」	チェック 有 ・ 無
プライマリDNS	_____ □未入力
セカンダリDNS	_____ □未入力
サードDNS	_____ □未入力
フォースDNS	_____ □未入力

<b>◆その他の設定(工場出荷値から変更/追加した設定がある場合にご記入下さい。)</b>

◆症状(できるだけ具体的にご記入下さい。)

◆接続図(接続図をご記入下さい。)





# 株式会社マイクロリサーチ

〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-5 清水品川ビル